京城日報
THE KEIJO NIPPO 大正八年十二月十一日(木曜日) 第四千三百八十號 (一)
(年中無休刊)

十二月十日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

伊國委員と移民保護
政府委員に依りて骨抜きとなる

十一月二十六日午後の勞働會議本會議に於て失業問題討議中移民保護同待遇の條項に對する伊國勞働委員ダルデヒ氏の動議は關東其ものが日本に關係あり且其の言動は最も円融しく感ぜられたり氏は豫め同案の提出に就きて同志を勸誘するは勿論議場の形勢惡しきを見るや幾度か起ちたるのみならず優艶なる伊國委員アクレスチー夫人は流暢なる辯を以て是れが挽回に努め同時に形勢有望となりしも遂に伊國政府委員に依りて骨抜となるや否やは明年の會議に於て決定せらるべし蓋し同案に對する米國の反對大なるが爲め伊國政府は是を憚り故意に骨抜案を提出せるものと觀測せらる我が政府委員も亦伊國政府に倣ひてか又は其運命を豫期せし結果かダルデヒ案反對の爲努力したり日本委員四票中桝本氏以外の三票は皆同案に反對なりき(華盛頓電報)

講和條約事務局
設置略定=情報局設置計畫

外務省にては今回講和條約事務局なるものを設置することに略決定したる由にて平和に關する一切の事項を管掌することゝなるべく尚ほ同省に於ては國民外交の實を擧げんが爲め情報局なるものを設置する計畫にて目下是れが調査研究中なるが這は各方面の情報を蒐集し新聞との接觸にも當ることゝなるべきも所謂宣傳機關には非ずとのことなり(東京電報)

米陸軍將校轉職
休戰以來米國陸軍將校は陸續辭表を提出し他に轉職しつゝあり當局にては之れが引止め策に腐心中なるも辭職者日に增加し大恐慌を來し居れり(紐育電報)

伊國汽船極東航路
伊太利ロイド汽船會社の極東航路開始され汽船アジヤ號は十二月二十四日神戸に向つて出發すべし(羅馬電報)

日米東鐵意見一致
詳細は聯合國會議にて決定

十數日前駐日米國大使より日本政府に對し東清鐵道守備及び機關改善に關し兩國の意見一致を求め來りたるが內容は單に目下必要なる件のみにて聯合國の對西伯利政策の根本問題は他日に讓ることゝするに在り其後同大使と我政府の意見一致を見るに至りたるが詳細は浦鹽に於る聯合國會議に於て決定すべしと(東京特電)

極東金本位計畫
ホルワット將軍は極東一帶を金本位とし金票を發行し各種紙幣は時價に依り金票に兌換すべく計畫し居れりと(哈爾賓電報)

オムスク紙幣拒絶
東清鐵道運賃受入改正

東清鐵道にては今回受入運賃に條件を附しオムスク紙幣を絶對に拒絶しロマノフとケレンスキーを兩額に受入るゝ事とし但し一口の運賃には二十五留以下のロマノフ小額券四分の一以上を要しロマノフ大及びケレンスキーは一割五分以上を受入れざる事に改正近日中實行の豫定なる由(哈爾賓電報)

小幡公使嚴重抗議
小幡公使は國民大會に於ける形勢及び商務總會の言動が日支國交を阻害することゝ並に學生の示威運動及び國民大會に於て配付せし檄文中日本に對する不穩の文字あるを指摘し支那政府は誠實に不法なる排日運動を禁止するの意なきやと嚴重なる抗議を試たり(北京電報)

南方討伐計畫
張巡閲使の精兵派遣か

北京政府及び段祺瑞氏は屢々張巡閲使の許に人を派して南方政府の討伐を促しつゝありしが爲め張氏の精兵を南方各要地に派遣せしめんとしつゝあり されど現在當局は之を極秘に附し部外の窺ふを許さず(奉天特電)

江防司令任命
北京政府は北滿防備隊に松花江の防備の緊要なるを認め新に王海軍少將を派して江防司令に任じ傳家甸東端四家子に其の司令部を置けるが目下部員を充員せざるも近く該司令部の完成を見るに至るべし(哈爾賓電報)

同王少將は名を崇文と呼び字を子箴と稱す福建閩侯縣の人海軍部視察並出使の視察也

朝鮮問題審議
九日の閣議に朝鮮總督府關係問題審議に上り水野政務總監より委曲説明せるが決定に至らず又當日李堈公事件の善後策に就き審議し終つて朝鮮統治上の根本方針に就き凝議したり(東京電報)

電話度數制實行
遞信省にては九年度より愈々通話度數制を採用することに關し目下準備中なるが通話度數制は六大都市に限定され居れるも其他の都市と雖も最近電話加入申込者數激增せるを以て勢ひ現制の變更となり其の結果料金の値上となるべきを以て電話收入の增加を來す次第なりと(東京電報)

鮮銀十周年祝賀
九日午後五時半より帝國ホテルにて鮮銀十周年祝賀會開催原首相以下朝野の名士三十名出席六時半食堂を開き後デザートコースに入り美濃部總裁の挨拶に次いで原首相の答辭ありて八時半散會せり(東京特電)

日銀帳尻
八日現在左の如し(東京電報)

發行高	一、二七七、四五五
正貨準備	八七九、七二七
限外發行	一七七、二二七
貸出高	四〇七、四八六

藤井中將入京
近衞師團長に榮轉せる藤井中將は九日朝入京せり(東京特電)

商議役員選擧
奉天近來の發展に伴ひ商業會議所の眞價大に認識されたる爲め今期の役員選擧は空前の活氣を呈し競爭激甚なるべし(東京特電)

東省增資計畫
東省實業會社は創立以來毎期異状の好成績を收めつゝあるが時勢の推運は到底現在の資本にては一般の要求に應ずる能はざるに依り來る二十四日の株主總會に於て一千五百萬圓若くは一千萬圓に增資の決議を爲すべし而して其の決議に依り來春早々全株の拂込を終り直ちに增資を決行すべく且つ此の際會社の基礎鞏固を圖る爲め增資株の大部分は內地にて募集し兼ねて內地資本の流入を計るべき方針なりとこれが爲め內藤專務は內地側と協議の必要上八日東上したり因に本期の純益は約三十萬圓なりと(奉天特電)

商事會社總會
奉天商事會社は十日迄に拂込を終り來る十三日創立總會を開催すべし(奉天特電)

水產主任會議 (第三日)
道水產主任技術官同製品檢查員會議第三日は十日午前十時總督府第二會議室に於て開會西村殖產局長の演示ありて直に日程に入り午前午後に亘り諮問事項に就き應答あり同四時散會せり

客月貿易 四千八百九十萬
十一月中の貿易額は輸移出一千七百五十七萬餘圓輸移入三千百四十萬餘圓を合計四千八百九十七萬餘圓にして前年同月に比し輸移出二百二十一萬餘圓輸移入一千三百八十萬餘圓合計一千六百一萬餘圓を增加せり而して一月以降累計貿易額は輸移出一億八千九百九十一萬餘圓輸移入二億五千五百一萬餘圓合計四億四千四百九十二萬餘圓にして前年同期に比較するときは輸移出五千八百六十八萬餘圓輸移入一億二千四百四十六萬餘圓合計一億七千三百十五萬餘圓を增進し差引入超額六千五百十五萬餘圓を計上せり次ぎに出入貿易の內容に就き前年同月と比較觀察するに輸移出に於て米は出廻り稀薄の爲め市況益々硬化し往々

內地と逆鞘
を示せしに拘らず尚移出比較的好況を告げ數量前年と伯仲し價額百九十萬餘圓を增進し大豆も亦豐滿なる氣配の強調に連れ取引活況を呈せしに因り九十三萬餘圓の增進を示し又棉花は愈々出廻り期に入り前年の不振に反し出荷見るべきものありて二十三萬餘圓を增進し其他魚類、繭、生絲、鐵鑛、含金銀粗銅、牛皮、牛、肥料等は各尠からざる增進を示せりと雖も一面豆類は栗豆の輸出杜絶に基づき三十三萬餘圓を減じ加ふるに鑛業界の不振依然たるものありて鐵類の二百四十二萬餘圓を初め重石鑛、黑鉛及銅等に

著しき減少
を告げたり輸移入にありては綿布類先約品の入津相變らず盛況を告げ金巾類三百二十八萬餘圓天竺布及び日本綿各四十萬餘圓內外を激增せるのみならず粟の輸入も亦賑盛を持續し百三萬餘圓を增進し其他石油、綿類、石炭及び木材等各著しき增進を計上せるに反し減少の主なるものは軌條等に過ぎずして結局輸移入貿易は輸移出の不振なるに反し引續き盛況を示せり

仁川期米波瀾
相場急騰す

仁川米は九日後場に於て立直りに有力筋あるため相場再び騰貴し四十六圓六十錢の安値ありしが大阪は正米の高勢より見て又大阪の二十圓以上高となるやを觀察するも突込みすぎの嫌ひあり果然十日前場は相場急騰し安附四十七圓を安値とし四十八圓八十錢を高値に乃ち百八十八圓の騰貴を演じたるもアト內地の軟報を入れ四十七圓六十九錢を以て押し波瀾裡に引けたり

地方費追加豫算
京畿 大正八年度京畿道地方費追加豫算左の如し

▲歲入
臨時部 第一款國庫補助金追加金三萬三千八百八十五圓第四款寄附金十二萬八千二百五十一圓歲入總計金百十七萬千九百九十一圓

▲歲出
經常部 第六款教育費追加金六十四萬四千三百七十四圓 臨時部 第五款勸業獎勵費追加金參萬二千七百十三圓第七款臨時手當追加金[illegible]合計金五十一萬七千六百十六圓歲出總計金百十七萬千九百九十一圓歲入歲出殘金なし

國境橫斷旅行を終りて (八)
林業と鮮支勞働者
伊藤特派員

國境方面には林業に關する諸事業を除くの外、未だ格別の事業起らざるも將來交通

運輸機關の
完成と共に各種の事業大いに勃興するなるべく、鮮支勞働者の競爭は劇甚なるに至るべし。間島及び豆滿江下流一帶(會寧以下)は南三里前より白豆の爲め鮮人の優勝なる潤澤なれば勞銀一圓五六十錢乃至二圓の高價なるも出て働かむとする者少く、自然支那人勞働者の出稼ぎを促し現に豆滿鐵道工事の如きは四分の三以上支那人を使役しつゝあり。又會寧に於る製材事業、銅店に於る

粗銅運搬の如き
江側に於ては義州に於ける森林の伐採、新義州に於ける營林廠の製材工場の如き何れも三分の二以上は支那人を使役しつゝあり是等使用者の見たる鮮支勞働者の比較論を聞くに

一、支那人勞働者は勤勉なるも鮮人は怠惰なり

二、支那人は約束を重んずるも鮮人は概して約束を重んぜず(人原の粗銅運搬は支那運搬にて一定の期間內に特定の數量を運ばざるべからざる時は常に手違を生じ豫定の作業を爲す能はざるも支那人は必ず約束通りの運搬を爲すと云ふ)

三、支那人は勞働に熱心なるも鮮人は概して然らず

四、支那人は監督者の有無に拘らず命令通りの作業を爲すも鮮人には必ず監督者を要する等にて斯くて一般に

倍々支那人
勞働者の流入を見つゝあるが國境に於る一の事業たる林業に於ても亦大體に於て以上の如きを以て支那人勞働者を必要とするものあり彼の伐木並に造材の如きは鮮人より寧ろ能率高く本作業は將來支那人のみの作業と成るの時期到達すべし流筏は鮮支人共に能率低く內地人の水を慣れたる素質と脚部の力強きと足の指先の働き充分なることに相俟つて殆ど其の獨占作業たるの觀あり支那式筏は不良なるにあらず乃ち內より起りに堅牢なるが故に操縱困難なること流筏に多人數を要すること

多額の費用
を要すること支那式筏の缺點あり且つ內地式筏は流筏後早きは十日遲きも十四五日にて新義州に到着するも支那式筏は早きも三十日遲きは二ケ月以上を要するより彼等の收入少く漸次其筏影を減じつゝあり鮮人は支那人よりも流筏に巧なるも支那人は內地人に及ばず上流の鴨綠江に於いては三下萬以下、瀧江は到底流し得る所にあらず現に鴨綠江に於いては高山鎭より下流を流筏し居れるが稀に上流の筏に從事するものあるも筏は其の數も稀稀なり總て

內地式
にして其流筏は內地人、鮮人の獨占となり支那人は陸上の作業のみに從事するに至るべし今營林廠新義州及び惠山鎭出張所の調査に係る鮮支勞働者の能率比較表を掲ぐれば左の如し

▲鮮支勞働者能率比較

	朝鮮人	支那人
熱心	八	一〇
機敏度	九	一〇
伐木	一〇	八
造材	一〇	一〇
集材	可	不可
運材	八	一〇
搬工事	八	一〇
水運	八	不可

地域に可くなりしを以て支那人が斗鳥を有せざる點あり然かも之が爲に絶對不可能の意味にあらざるべし右の如く概して支那人は鮮人に優れるを知るべく總督府は鮮人勞働者保護の意味に於て支那人勞働者の流入を喜ばず之れが入には許可制を採り居れるも鮮人を刺戟するの意味に於て大に輸入し其の幾多の缺點を矯正せしめ彼等の勞働能率の向上を圖る事必要なるべし

概算五千
內外と註せられるが十一月末以來同樣の暴落し二十七八圓を唱へらるに至りしため多數の同株を所有せる京城の某々株式店は之に對し甚しく損失を免れずと云ふ而して之が爲に該株の値を以て經過するこそ取引の上に於ては甚だ困難な

安東信託暴落
會社に悲觀材料なし
安東證券信託株は前月中旬花々しき暴騰を演ぜしため現株主も漸じ若くば安東より直接問所株の京城に入りたる數は

叉銀壹買
十一月一千五六百株平均を保ちたるものなり乃ち同所の證券信託は一日一千五六百株の出來高を保ちたるも甚しく暴落に非ずして外より來れる株式の下落を招來したる結果にて今日の收入より見るも一割五分配當可能につき同株の實力は五分に見て十二圓五十錢拂込みのもの優に四十五圓乃至五十圓の價値ありと見做すべし然るに昨今の不勢は(一)鮮銀及び其の他安東及び新義州に起りし會社の拂込資金を要せしため信託株所有者の投げ物ありし事(二)年末決濟資金の急需にある

兩氏送別會
新義州京城大佐中佐兩氏の送別會は九日午後七時より京城ホテルに於て開會同九時盛會裡に散會せり

殖鐵張宴
西鮮殖鐵にては十一日株主總會終了後百株以上の大株主を招待千代本に張宴する由

機關車竣成
朝鮮鐵道にては米國より購入せしカド型機關車十二輛の內七日一輛竣成したるを以て愈試運轉の上各線に配屬すべし

ツルチユク創立
一時解散説さへ傳へられたるツルチユク醸造株式會社(二百萬圓)は八日大阪商業會議所に於て創立總會を催し左記役員を選任せり

▲取締役社長山桃源、吉岡彌次郎(常務)、中谷孫七、西村義之、谷崎惣吉、岡智、自飾邦二▲監査役松平政男、三好保、窪井甚三、堀家康

旭組合設立
林隣次氏外八名よりの出願に係る合資會社旭組合設立の件は九日附許可の指令ありたるが同組合は本店を浦潮に置き資本金一萬五千圓を以て運送業を經營するものなり

辻酒造增資
辻酒造株式會社(本店釜山)資本金增額變更の件は八日附許可の指令ありたるが右は從來の資本金三萬圓を十萬圓となしたるものなり

殖鐵創立總會
西鮮殖鐵にては十一日午後一時より京城に於て創立總會を開くことゝなりたるがその順序は左の如し

委員長開會の辭、議長の選任、設立事項報告、創立費承認、取締役及び監査役選任の件、取締役及び監査役報酬決定の件、檢查役選任の件に移り終つて總會の前後に於ても

城津測候所移轉
城津測候所は今回廳舍及び所員官舍の改築完成せしを以て去る六日新廳舍に移轉したるが新廳舍は同地驛に隣接し海面上三十二米餘の小丘上にあり且つ觀測地に選定せられたるを以て氣象觀測上好適所たりと

咸興地價騰貴
咸南咸興地方の地價は最近騰貴の狀態にあり咸地方の將來に注目する者漸く多く移住者の如き漸増の模樣にあり

木本氏設宴
木本京城新聞社長は九日夜花月に京城新聞通信雜誌記者を招待張宴木本氏の挨拶に對し萩谷氏の謝辭あり九時散會せり

○鮮銀券日報 八日の帳尻左の如し

發行高	一五六、二四六、九一八
正貨準備	五八、六〇三、三九三
保證準備	九七、六四三、五二五
限外發行	四七、六四三、五二六

人事消息
▲李軫鎬氏(全北道知事) 今回內地に出張を命ぜられたるが都合に依り年內出發を見合せ明年一月十五日出發の事に變更したり

▲谷大正製藥專務取締役 十日朝入城京城ホテルへ

▲名古屋鮮滿視察團一行 九日夜發內地へ

▲久門雄二氏(滿鐵技術部技師) 十五日京城通過赴任すべし

▲市村久雄氏(第二十七聯隊司令官) 十日朝釜山上陸鐵路鎭海に向ふ(釜山電報)

▲辻武美氏(三井物產京城支店長) 家族同伴十日朝釜山上陸十時急行にて北行(釜山電報)

▲室谷醫學博士(第五師團軍醫部長) 十一日朝九時半通過征途に上るべし

▲大野軍參謀長夫人 十日朝上東上

▲西島工兵中佐 滯城中の處十日朝出發歸東

▲安井砲兵中佐 同上

▲足立旅團副官 同上

▲奧田少將(龍山旅團長) 南鮮視察中の處十四日朝歸城の豫定

▲米山久猶氏(朝鮮商興專務) 九日夜下關發

懸賞川柳
創花坊先生選

大馬鹿

南部坂きと大馬鹿で氣もませ 永登浦 霧園子

大馬鹿が居る川端のうらとぉ

大馬鹿になまぁ鴨居へぶら下り

大馬鹿で通る伊勢屋の三代目

大石が大馬鹿なりし九二年 大和町 直辟

大馬鹿を英雄にする十五日 工兵二〇 久純

財界閑話
▲朝鮮の如き新開地には內地資金の移入を大に圖る必要がある、少なくも朝鮮に收める金は朝鮮で使つて貰ひたい▲朝鮮の金を內地にもつて行く如きは恐らく避けねばならぬと云ふ主旨から朝鮮實業協會の能理事が有力者の間に運動して居られるが實に好い事だ▲然るに內地銀行の支店中朝鮮に於て集めた預金の若干を內地に送る所があると云ふうわさもある▲朝鮮の預金を內地にもつて行く如きはせぬ様にして貰ひたい、その反對に內地の預金を朝鮮にドシドシ移して欲しいと或る人が第一銀行支店の竹村君を訪ふて一銀は內地の預金額既に四億にも及ばうとして居る今少しくその資金を朝鮮に移して金融の緩和に資する意なきかを問いたら▲竹村君の曰く一銀支店の預金八百萬圓それに對して貸出しは一千二百五十萬圓に達して居ます▲少しは資金の上から見ても朝鮮の開拓に努めつゝある筈ですよと出た▲一銀の貸出しが預金の五割も多いと云ふ現象は君の時代になつてからしい此點に於て竹村君の力量を推して居る人もある▲二十日をすぎたら金融もいくらか緩もうと觀て居る銀行家が多い▲少しゆるまなくちやこれで大晦日となつては危險い連中が大分あるらしい

十三日より
御進物品陳列會
京城・平壤・大邱・元山・釜山
京城 三中井呉服店
商品券
弊店の商品券は京城、釜山、大邱、平壤、元山、晋州各支店共通にて御進物用には最も御便利に御座候

今朝出獄した忠信

(上)出迎へ人と相擁して泣く(右)が忠信(下)岐阜屋に落著いたところ

李堈公は德壽宮に
各宮家同樣家務監督を置き雜輩の出入を嚴禁
宮相顛末を奏上せん

野政務總監並に國分李王職次官は九日午前十時波多野宮相を訪問し李堈公事件其の他に就き協議したるが其の結果宮相より其の旨奏上する事に決定せる由なるが仄聞するところに依れば內地各宮家の制度に倣ひ李堈公家にも家務監督の制を實施し殿下の取締を爲すと同時に外間との交通を嚴にし雜輩の出入を防止すると共に公族として紀律ある生活に導き皇室より給せられたる御費用を從來の如く濫費するが如きこと無きやう爲すものにて其の制度の實現と共に寺洞の御本邸及び御別邸城北莊は殿下の御希望通り總督府にて家宅經營の任に當るべしと而して殿下には目下進捗中なる德壽宮の工事竣成次第之に移らるゝことゝなるべし(東京特電)

淨法寺師團長より表彰された二兵卒
全軍の模範たるに恥ぢず
友野上等兵に平松看護卒

淨法寺第二十師團長は十日步兵第七十七聯隊上等看護卒平松[illegible]及び步兵第七十九聯隊第四中隊上等兵友野政夫の兩氏に對し其の行爲眞に兵卒の模範たるに恥ぢずと

賞狀を附與 し其の善行を表彰したるが今其の內容を聞くに實に左の如し 步兵第七十七聯隊平松上等看護卒は大正八年七月上旬平安道德川守備隊に赤痢發生し內二名は既に重症にして入院の爲め護送せしめ難く僻遠の地而も治療の上設備材料不十分なる至極めて困難なる狀況に於て診察の止むなきに至りしが彼は軍醫の指揮を受けて一團一致十日に及び遂に

失神狀態に 陷れるが如き重症者と起居を共にし危險を犯して從容看護に從事し其の一名は懇篤なる看護卒の介抱も其の効無く不幸の轉歸を取るや彼は落膽言語に絕し其の狀見るに堪へざらしめたりしと雖も然更に

殘餘の患者 に屆一屆の努力を盡し遂に再び恢復せしむるを得たり患者發症以來實に五十余日其の間殆んど不眠不休毫も嫌忌の色なく其の終始一貫せる至誠と懇切なる看護とは啻に患者のみならず隊內一般をして感歎措く能はざらしめ眞に兵卒の模範たるに恥ぢず又步兵第七十九聯隊友野上等兵は十月上旬所屬隊が鴨綠江岸守備の命を受け守備中咸鏡北道茂山の對岸に屯せる當時茂山川は

連日の降雨 に因り著しく增水氾濫し橋梁全部流失して對岸との交通全く杜絕せしを以て中隊は諸種の手段を講じ十三日急造の橋梁を完成し直ちに渡河を實施せり當時友野上等兵は分隊長小橋軍曹の指揮を受け前路偵察の爲め中隊に先行して該橋を過ぐる中同行の一等卒平松[illegible]は過つて

濁流に墜落 流下し危機に瀕するや友野上等兵は決然として武裝を解き激流中に跳入り同一等卒を救助したり其の行爲たる實に自己の危險を顧みるの私思なく眞に軍人精神の發露したるものと云ふべく而も其の行動機敏にして沈著なる等眞に兵卒の模範とするに足れりと云ふにあり人情動もすれば

輕薄に趨ら むとしつゝある今日兩兵卒の行爲たるや眞に一服の清涼劑を投じたるものと云ふべく淨法寺師團長が特に賞狀を附與する又故ありと云ふべし

男女四百名朝鮮銀行に殺到す
實は紙幣と小錢の兩替

朝鮮銀行では補助貨離緩和の一助にもと九日より毎日一人當り三圓宛を小額紙幣や銅貨に取り交へる事とし窓口にいくらかの引換へをやつたが歲末商況多忙の折柄小錢の不足は市中著るしい事實であるため鮮銀で

紙幣を 小錢に換ると云ふ噂は僅か一日の間に洸く傳播したものと見ね十日午前九時鮮銀の營業時間になるのを待ち構へ各商店員らしい男女約四百名が恰も預金の取り附けにでも來たやうの勢ひで銀行に押し寄せ一時は公衆溜りに入り切らぬこあり電車道まで

人山を 築いてゐたが鮮銀では一人當り三圓也宛即ち約一千二百圓を交換し入口のガラス戶に『本日補助貨交換を中止致し候』と貼紙した今後の交換は此の有樣だこ繼續困難らしいと

小錢四十二萬圓
今明中に仁川に到著
補助貨拂底緩和せん
二十日頃更に四十萬圓來る

元來補助貨の拂底を恕へる聲は[illegible]だしく爲めに何でも無い者迄が小錢の出し惜みをする結果は益

剩錢に困難を感 じて來て居るそこで總督府でも中央銀行へ交渉の結果補助貨の補充を計る事になり既に其の內小額紙幣十錢券三十六萬圓三百六十萬枚と五十錢券四萬圓八萬枚及び一錢銅貨一萬圓百萬個、五錢白銅一萬圓二十萬個合計四十二萬圓は今明日中仁川へ回著の筈であるので數日中には朝鮮銀行から

朝鮮各地 に分配され市中にも出る譯で年末金融繁忙の際では是はよほど緩和されるであらう其の外目下總督府から東京への入電に依ると此の補助貨は小額紙幣十九萬五千圓(內七萬五千圓は五十錢券殘りは十錢券)で之が發送から便船に積み込んで京城に到著するのが

二十日頃 であるから此分も年內には市中に顏を出す事になる目下東上中の河內山財務局長等も朝鮮の補助貨補充に就ては中央に於て種々奔走しつゝあるので今後は補助貨缺乏の聲は無くなるであらうと

惡感冒益々猖獗
龍山に死亡者續出
師團では豫防液三千人分送附方を陸軍省に電請す

其後龍山の流行性感冒は益々猖獗を極め死亡者續出から步兵第七十九聯隊の兵卒二名

急性肺炎を 併發し死亡したる外鐵道學校生徒一名九日死亡し其他重症患者多し陸軍側にありては室外の衛兵の外は口鼻蓋ひを必ず用ゐしめ居れり師團に於ては

萬一を顧慮 しインフルエンザ菌と肺炎菌との混合豫防接種液ワクチンを三千人分送附方を陸軍省に電請し目下未だ罹らぬものに對し豫防接種を勵行すべしと云へり

惡感冒の症狀
早川軍醫部長談

本年の流行性感冒も昨年同樣猛烈な勢ひを以て殺到しつゝあるが其症狀は昨年とは多少異なつてゐる步兵第七十八聯隊同七十九聯隊の患者の多くは

最初惡寒を 覺え次いで發熱するやうである發熱すると間もなく咽喉に疼痛を訴へ充血する咳嗽するものも多いが大部乾咳であつて痰の出るものは至つて稀である、次いで頭痛、腰痛、關節の

疼痛を訴へ るのが大部分を占めてる極稀に腹痛と下痢を催すものもある熱は大抵三十八度から三十九度を往來し四十度を超ゆるものは稀である脈搏は動く大抵九十內外である重症者は急激に全體の肺を冒し肺の水腫を起し

呼吸困難と なり絕息して死亡するやうである故に軍隊では是が治療として最初に强心劑を與へるやうにしてある早く心臟を冒すからである又肺の水腫の爲呼吸面が少くなるから

酸素攝取量 が減じるを防ぐ爲め酸素吸入を行ひ又病毒を稀薄ならしめる爲め食鹽注射を行つてる豫防法としては風邪に罹らぬやうにするのが第一であるが人混の中に出ぬやうにするのと

室內を乾燥 せしめないやうにするのが宜しい昨今寒さが加はつてオンドル、ペチカ、ストーブ等を焚くから、往々にして室內が乾燥し易い蒸氣吸入も良くサモワールのやうな蒸氣を吐く器物を室內に備へ乾燥を防ぐやうにするが良い咽喉が痛むやうだつたら

一刻も早く 溫包し朝夕二回宛含嗽劑で咽喉を洗ふが宜しい何と云つても手遲れが最も危いから早く診察を受けるに如くはない云々

伊國飛行隊の出發期
十五日頃との說

伊國總領事の談に依れば飛行機は十五日頃羅馬を出發の豫定なりと(上海電報)

楚山地方の惡風說

楚山地方の不逞鮮人等は國際聯盟會議當日を以て再び萬歲を高唱するとの風說專らなると共に對岸の天道敎信者にして家財を放棄し目下收穫穀物を取入の儘逃亡せるものあり其の原因は近く天道耶蘇敎徒等活動するに至るべく其の際不逞鮮人より壓迫せらるゝを恐れ善良なる鮮人は他に移住を希望しつゝあり(義州特電)

年増らしい色艶を見せて 罪の女忠信出獄す
今曉四時西大門監獄から
出迎人鼻を明かす
監獄で二貫目も殖ゑた
南大門外岐阜屋に落著く

强盜殺人犯人陸軍憲兵小尉都野川義雄の情婦藝妓忠信として、曾ては世人の憎しみを一身に脊負つて居た罪の女今津りようは一年間の

刑期滿ち て今朝西大門監獄から放免の身となつた、十時出獄と聞いて記者が俥を同監獄へ急がせた時は早や門前に數臺の俥が臨ねられて居た、それはりようの鄕里兵庫高砂町に居るりようの

內緣の夫 安田某の姉ウメノや元りようの抱へ主紅屋の主人其他料理屋關係者四五人と曾て同人の妹分であつた仲駒の秀丸が出迎へて居るのであつた。ところが豫定の時間十時が鳴つても女監の鐵扉は

堅く閉さ れてりようの姿は一向見ゑない。典獄の姿も典獄室に見ゑず監守に聞いても『サア何時頃出るんですか知らサア正門から出るかどうか?』と甚だ曖昧な返事に少々

不安を感 じて居ると、軈て一監守に手招かれ記者は引取人の二三人と共に正門を脫けたま、監守の後を追ふ『何方に行くんですか』と聞いても『何方で判る』と答へたま、監守は只タゝと監獄街道に添つて行く

一同狐に 魅まされた樣な氣持ちで跟いて行けば軈て峴底洞の方へ細い路次を入り百十四番地の三岩永法竜と表札の掛つた二階建の家で『一寸待つて居ると……』この細國門前に待つて居ると

引取人の ウメノと紅屋主人だけが室內に喚び入れられる。軈て歔欷の聲が室內から漏れて來る。それはりようが引取人と對面して咽び泣いて居るのであつた。そして此家は同監獄

敎務主任 の家であつて騷々しい新聞關係者の襲擊を避ける爲めに今朝未明四時に監獄から此家に移されて居たのだと云ふことが判つた。二三十分經つてりようは衣裳を改めて此家の人々に感謝の辭を陳べ乍ら戶外に出た。髮は

無造作に 束ね眼は淚に潤んで居るが粹な御召の袷布に譁洗草履を穿つた姿は一年間の苦役に惱んだ女とは思へない程ご艶めかしい。そして獄中生活で二貫目餘り肥つたと云ふ位だから頰なども年増らしい

色艶を持 つて居たりようは一々出迎への人に感謝の辭を陳べたが女の人に對しては相擁して咽び泣いた。そして幌俥の中に身を埋めて南大門通りの旅館岐阜屋に一應落付いた。

大阪に出て商賣でも
今後の身の振方 忠信の淚話

旅館の一室でリヨウは雨眼に淚を湛へ乍ら往訪の記者に語る『皆樣の御蔭で無事に世の中に出る事になりましてまことに有難う存じます。入獄の當時は大變世間を騷がせて相濟みませんでしたが私は決して惡に加擔したわけでなく、唯都野川さんに對して

義理立 をしたばかりにこんな慘めなことになつてしまつたのです。又彼の人(都野川)だつてあゝまで惡事を働く人間だとは最後まで信じられませんでした。平壤で最後に面會して殺人の顛末を打明けられたことも私は半信半疑でございました。彼の人が

死刑に なつた時は雷が鳴つて物凄い日でしたが蟲が知らせるのか御飯も碌々戴けませんでした。入監中は故鄕に居るタツタ一人の父親の事が氣懸りでなりませんから元私の內緣の夫であつた安田さんに面を逆つて

切ない 心中を打明け、出獄後は如何にもして御恩返しをしますから父親の面倒を見て下さいましと手紙で賴んで置きましたが先方でも私の意を酌んで呉れまして面倒を見て居るさうです、そして今度もその人の姉がわざ〳〵

迎ひに 來て呉れたわけでございます、私は京城で皆さんにお目に掛るのも心辛いし鄕里にも居辛ひのですから父親に逆つた上は大阪にでも出て何か商賣を始めたいと思つて居ります』

張德秀は鄕里へ
居住制限を解かる

問題の男張德秀に就いて其筋に於ては其處分講究中の所九日に至り居住制限を解除することに決し張は十日午前京城出發沙里院を經て鄕里黃州に向へり右に就いて某當局は『張は曾て行政處分で一箇年間の居住制限を命ぜられたが其後改悛の狀顯著でもあり過般上京して僞政當局と會見し幾分の理解も得、今日の所何等居住を制限すべき必要はないと思ふので解除したものであるが張も欣然として歸鄕の途に就たやうであるから不穩過激な擧動を再び繰返すやうな事は萬々あるまい否大いに上海の所謂獨立政府なるものが空想の産物に近いと云ふ事を大悟したらうと思ふ』

自轉車自動車と衝突
一名重傷を負ふ

高陽郡延禧面阿峴里百四番地當時黃金町一丁目九十七番地金世鉉方自動車見習生金洙貸(二三)は十日午前十一時四十分頃京城自動車學校練習用自動車に黃金町一丁目鐘路車店の某(二二)を同乘せしめ無斷運轉して同町方面より太平通に向け疾走中自轉車にて疾走し來りし大和町一丁目二十二番地雜貨商奧江德太郞に衝突し德太郞は頭部に負傷したる騷に直に松岡病院に舁ぎ込み應急手當を施し更に旭町朝日病院に移送されたり松岡病院長は語る『右前額部の動脈を切斷して居る樣です其他に二三個所輕微の擦過傷がありますがこれはさしたる事もありません、腰部を打撲したらしいが豫斷は許されぬ故障があるか何うかはX光線に掛けて見なければ判明しません傷は二針縫ひましたが當人が腦震盪を起して居りますから餘程重症だと認めます』

歡迎會の席上で頓死
龍山の名物男

龍山名物男木谷安吉氏は十日夜新白水にかける神崎警察署長歡迎會に出席し委員の一人として斡旋中午後八時突如心臟痲痺を起し同じく出席の佐々木鐵道病院長其他應急手當を行ひたるも終に其儘永眠し爲めに歡迎會は興半にして散會するに至れり氏は京城居留民團議員龍山消防組長其他町總代等公職に盡瘁し俠氣あり常に龍山有志者として德望ありしが惜むべし

船中でお產
母子共に頗る健全

十日朝釜山に入港したる關釜連絡船博愛丸の乘客京畿道楊平郡在住本籍熊本縣八代郡村上三造妻ちの(三六)は同船の航行中產氣付き間もなく船中に於て安々と愛らしき女兒分娩したるが船長は大喜びにて直ちに赤飯を炊いて船中一同に配り之を祝ひたりしてちの及び嬰兒は醫師看護婦の手當を受け頗る健全にして女兒は博愛丸に因て博子と名づくることゝなりたり(釜山特電)

忘機吟社例會

忘機吟社十二月例會は來る十四日(日曜)午後一時より大和町三丁目賀龍寺に於て開催課題は席上にて發表すべしと

灯頃

本町署の千田警視は一見サワリの好い溫厚な君子人に見ゆるが職務にかけては驚くばかりの精勵家だ▲從來署長の夜中巡回などは稀であつたが千田サンは就任以來熱心に部下の執務振りを視察し廻る▲外勤の連中がウツカリして居ると深更の二時三時にヒヨツクリ姿を現はして部下を激勵するので一同は張合があると大喜び▲今年中の端書の印刷高は十二億枚で年賀用だけでも二億枚の豫定だとは大したものだ

蠶業界の大發明
中根敎授外數氏の研究
蠶病を豫防する桑の塗料
收繭を多くし絲質も優良

京都蠶業學校にありては中根信一敎授外數氏の熱心研究の結果ビヨウトメックと稱する一種桑葉塗抹劑を發明し目下中根氏の名義を以て特許に專賣許出願中の由なるが從來蠶病發生の原因は濕氣を結する事が其の重なるものとせられ居るも右の藥劑を撒布せば如何なる濕氣を[illegible]ることも何等蠶兒に害を及ぼさゞるのみならず却つて蠶兒の體重約二三割方を增加し從つて其收繭も二三割りを增加し且つ絲質にも何等影響を及ぼさゞるは同校に於て久しき實驗に依り一點疑ひなく啻に蠶業界の革命に値すべき破天荒の大發明なりと

聯絡船上陸客

福田うめの、淺野初枝、同歲、若川勝三郎、同ひさね、米澤たけ、林よし、西田龜吉、廣平知良、倉藤こさみ、諸岡末子、忽那信衛、田森子、佐藤新一郞、岡田まくゑ、[illegible]吉、淺川政哉、同光枝、同その枝、[illegible]さだ、松岡忠成、佐々木巳之吉、山本忠司、吉永定一郞、佐藤敏人、木村隆一、岡[illegible]、山重治、百瀨出治、女子、山內ちよ、[illegible]

東京現株 [illegible] ▲一一四、〇〇

仁川期米 [illegible]

天氣 晴

清酒販賣廣告

一、清酒 約六拾石(大桶二本)

右大正八年十二月十二日午後二時入札ヲ以テ販賣ス

場所 京城府漢江通拾三番地

但入札保證金八百分ノ五トス

石原商會釀造部

東亞經濟通信發刊

最近朝鮮事情のプロパガンダに成功したる本會は今般更に朝鮮總督府の認可を得て東亞經濟通信社を經營し本會の機關紙『東亞經濟時報』を『東亞經濟通信』と改題の上毎月三回五の日を定期發行日と定め朝鮮並に滿州を中心とした東亞財界の眞相を赤裸々に御報道可申上候間何卒倍舊の御愛顧を賜り度此段以紙上謹告仕候 敬白

追而初號は來春一月五日に發行致し候

京城府明治町一丁目

東亞經濟會

東亞經濟通信社

社長兼主筆 板橋菊松

編輯主任 中村資良

庶務主任 小池達夫

觀相

石龍子先生直傳

從五位勳五等 酒井三郎太(龍派)

京城永樂町二丁目(交番向橫町)

▲現株賣買(小資金にて自由に現株の賣買出來る秘法公開)

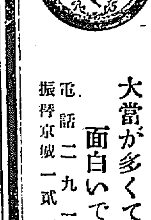
時代の要求に鑑み新發見の貨殖法矢張金儲は株式にあり株界は待に待たる棹尾の成金相場は將に來らんとす見よ見よ此安値を買ば見事大勝利自慢せないが此樣しい當り振は買付て此味を知れ今や現株買付の絕好期!!!期待する大相場に乘外し給ふ勿れ▲內容說明書無代進呈

大阪市北區曾根崎上四丁目 村井株式店

歲暮大賣出し

さあ行きませう 京城本町二丁目の

川合時計店へ
川合時計店は



他に類のない機械で 割引抽籤をするから 大當が多くて 面白いです

電話 二九一八

振替 京城 一貳一九

移轉擴張御披露

近來企業界の旺盛にして著しき事業の勃興は我財界の發展盛況を物語ると共に民心一齊に株式取引に集注し勢之れが放資は今や實に世界的趨求に相應じ申候弊店は此際時代の要求に應じ一層設備を完成し最も卓越せる模範機關店の經營を企圖し左記の處に移轉益々業務擴張只管顧客本位を以て誠實敏活に御取扱可仕候間倍舊の御愛顧御引立の程偏に奉希上候

大阪市東區北濱二丁目一千七番地

大阪株式取引所仲買人 瀧口富作

電話本局 長四〇〇番 長四〇三番 長四六一番 長二七四一番

(營業案內、不信略號表御申込次第贈呈ス)

……太郎、宇野良之介、佐藤新山はる、七條元治郎、同こすゑ、倉田益五郎、遠藤はな、安部博重、人五名、藁科外人廿二名、二等（七七名）重松林、川崎兵吉郎、今津嘉三郎、小倉吉之助、大田三郎、石川茂雄、田貫のぶ、……谷口欣治、高田弘太郎、菊池由蔵、西岡貞治、秀島浩一、仲益雄、小白井治三郎、川崎鶴之助、竹谷義、永富龜吉、同みさ、同初一、茂木……外人一名……

第五版

近時劇增したる 新義州の會社

資本金千四百餘萬圓

新義州に於る會社の簇出は屢報の通りなるが最近內地方面よりの資本流入頗る多く何れも最も堅實なる基礎の上に創立せらるゝ傾向あるは頗る喜ぶべき現象なり最近新義州府に於て調査したる處を見るに本店を有する會社十九、支店を有する銀行會社二あり其公稱資本金一千四百十七萬圓にして拂込み資本金二百七十萬八千五百圓あり此の外年內又は明春匆々更に資本金五百萬圓を以て鴨綠江林業會社の創立を見るべく盛に出願したるもの、內には資本金五十萬圓の鮮滿土地建物株式會社あり將來益々事業の發展を見るべし既設會社名及び公稱資本金左の如し（新義州）

資本金五百萬圓平北農産株式、五萬圓新義州印刷株式、五十萬圓新義州貿易株式、三十萬圓新義州倉庫、十萬圓木材保管合名、百萬圓朝鮮商事信託株式、二十萬圓西鮮通運株式、百萬圓新義州木材株式、五十萬圓朝鮮材木株式、五十萬圓新義州藝函株式、五百萬圓朝鮮製紙株式、七萬圓新義州製菓株式、三百萬圓朝鮮肥料株式、百萬圓滿鮮染料工業株式、五萬圓株式會社新義州水産物揚、五十萬圓株式會社新義州銀行、五萬圓西鮮運送株式、二十萬圓鴨綠江運輸株式、十萬圓新義州氣株式、外に朝鮮燐寸會社支店及び朝鮮殖産銀行新義州支店

營口の投資額

△一戸當り二千餘圓　△一人當り六百餘圓

多年萎靡振はざりし營口も一段浮鐵改正の確報に接するや頓に活氣を呈し來り各地の大商店は支店を設け出張所を置く等宛ら別世界の觀を呈して來た此勢に乘じ新設銀行會社は數々組織せられ多額の投資は行はれた是を概算すれば營口銀行は第三回の拂込で二十二萬五千圓、振興銀行の新株二十五萬圓、營口證券信託十二萬五千圓（內七萬圓は大連こして之を除く）滿鮮染料工業が二萬五千圓、營口印刷二回拂込二萬五千圓、東亞印刷五萬圓、産業會社五萬圓、共立銀行七萬五千圓合計八十二萬五千圓なるに尚本年中に拂込まるべきは營口土地建物の二萬五千圓、營口汽船倉庫五十萬圓、取引所の十二萬五千圓等ありて合計百五十七萬五千圓に達す之を營口在住者が全部拂込むものとすれば七百戸として一戸當り二千二百五十圓又人口二千五百人に割當つれば六百三十圓に相當す（營口）

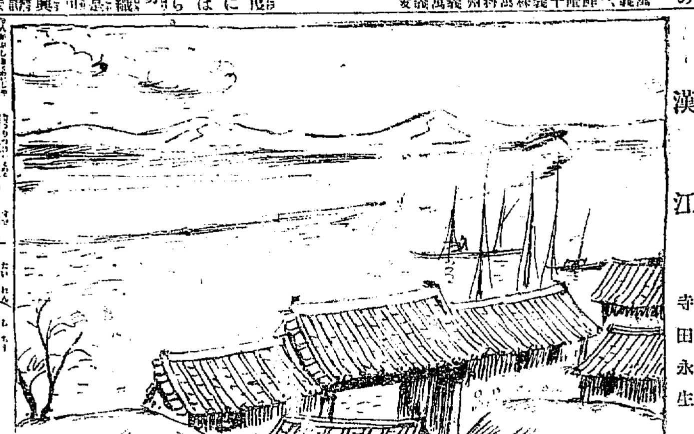
歳末と金融 爲替二千萬圓

大連金融界は歳末を眼前に控へ著しき緊張を呈し來りたるが之に就ては近時母國より北支那方面に對する輸出增加を告げ之が代金決濟に內地送金爲替激增し最近に於ける大連諸銀行の內地組爲替は既に二千萬圓餘の巨額に上りたるなく共持産季節に加へ歳末決濟需要を眼前にし金融益々緊張の度を加へんとする時に際し斯る實情の存すあり當滿州金融界の主腦とも見るべき鮮銀は之が對策を講ずる必要を切感し在滿資金の流出防止策として年內に今一同金利引上を決行すべく且這次は預金利子をも引上ぐべしと推せらる右實施期は多分本月中旬末頃なるべしと豫測されつゝあり（大連）

鮮實業家活躍

新會社の企畫頻出

安東縣及び新義州に於ける鮮人實業家の活躍は近來頗る目覺しきものあり最に安東縣には資本金二十五萬圓の安東貿易株式會社の創立ありしが別項の如く新義州に資本金二十萬圓の西……産株式會社の創立計畫あり既に其の筋の許可ありたるを以て不日其の創立總會を開くに至るべし此の外安義兩地に於ては相當資本を有する鮮人實業家の活躍するもの漸く多きを加へたるは最も喜ぶべき現象なりと云ふべし（安東縣）



漢江　寺田永生

全羅牛皮狀況

全羅南北道に於ける牛皮狀況を聞くに茲一ヶ月前俄然一割方の昂騰を見たる儘茲元一寸居据の有樣にて昨今の價格は全羅物百斤に付き改良種百十七八圓在來種大中物九十四五圓處を唱へ居れるが南北兩道の牛皮は直に羅州の丹羽政次郎氏の手にて買收の上、東洋畜産興業會社に納め居れり（全州）

江原道訓示（四）知事

宗教は國民教化上至大の關係あり爲政者にして宗教家と意志の疏隔あらむか國家の不利益洵に大なり然るに各郡に於ける狀況を見るに何等宗教家との諒解なきもの少からず殊に宗教家中には其の言語習慣を異にするものあるを以て自ら爲政者との接觸及理解の機會を得さるものあるの虞なきにあらず之を以て地方官は深く此の點に留意し各宗教派を問はず事務の許す限り布教の便を圖ると共に努めて宗教家との間に諸般の了解を保たれむことを要す

各位の地方狀況答申及意見書に徵するに各般行政事務に對し服勉努力の顯著なるは之を認むるに躊躇せざると雖徒に物質上の得遇を求め爲に都治の研鑽未だ全からずして論旨徹底を缺くものあり或は妄に時代の浮薄なる風潮に共鳴するか如き感あるもの有り或は各般の施設計畫に上局の指示を求むるに止まり進むで考案施策するの況少しと認めらるゝあり今後は郡內各種の具體的事實を調査し之に基きて研究を遂げ其の行政上の抱負は屢述之を開陳し改善發達の資に供せらるへし官紀の振粛に關しては從來屢々訓示する所あり各位に於ても常に之が振張に留意せらるゝを疑はずと雖も近時物價の昂騰に伴ひ一般官公吏は多くは生活上の脅威を受け其の地位に安せざるの傾なきに非ずのみならず此實質兼の氣習漸く弛緩し動もすれば輕佻浮薄に流れんとするの傾向あるは甚だ遺憾とする所なり各位は宜しく此の點に注意し部下職員を戒飾して日新の大勢に順應し綱紀を積み人格を養ひ不備不當の弊を排除し等ら恪勤質實奉公の誠を竭さむこと期せらるべし（春川）

大連市中に 馬賊入込む 警察署の大活動

近來山東方面より大連に潛入し來りたる形跡ある馬賊の一團あるより大連警務課にて極力之が探査に努め居たるが、四日午後五時頃武田刑事、孫巡補の二名は小崗子方面を警戒中、同所警官派出所附近にて賊團の一味と覺しき擧動怪しき漢に出遭ひしより直ちに逮捕せんとせしが賊は隱し持ちたる拳銃を亂射して抵抗し武田刑事は右足關節に貫通創を負ひ孫巡補亦頭部に負傷したるも屈せず勇を鼓して遂に逮捕したり、又同夜十時頃に至り市內若濃町に三名の賊現はれたりとの情報に接し直ちに五名の刑事急行し格鬪の末二名を逮捕せしが他は逃走せり爾來一層嚴重なる搜査續行したりしが五日朝八時頃に至り、兒寺溝方面に賊團の一隊潛伏し居る事を探知し、數名の刑事巡査は直ちに逮捕に向ひたるが賊等は又もや拳銃を亂射して劇しく抵抗せしも、警官隊も之に屈せず對抗し格鬪十數分に亘り遂に四名を捕縛したるも他は逃走せり此の格鬪中陳巡補は腹部に盲貫銃創を受け生命危篤の由なるが他は差したる被害なかりし模樣なり斯く警務官憲連日に亘る苦心の結果、前後七名の賊を縛せしも尚多くの殘賊潛伏し居る見込にて晝夜兼行嚴重なる探査を續け居れり

家庭の母へ（一）

京城櫻井小學校長　河野卓爾（寄）

お子供方を教育する上に於て、最も必要を感じてゐるのは、御家庭と學校との聯絡でふ事であります。御承知の通りお子供方を學校で御預かりする時間は、僅五六時間に過ぎません。其の上又、何千何百といふ、多數のお子供方を、一所に扱ふものですから、どうしても充分手が屆くにはありません。……それ故に御考へ下さい。……それだのに。御子供を學校に預け切りにした樣な、御考へをお持ちになつて、居らるゝのは、如何なものでせうか。誠に危險千萬の事ではありますまいか。學校では本より出來る丈けの方策を講じ、そなへて御期待に添ふやうにと務めてゐますが、今日の學校其ものゝ、性質上より來る制限は、どうしても超られません。それらの制限の中、最も主要なものは、前に申しました、四六時中、極僅の時間を限つて、御預かりせねばならぬといふ事と、多人數を、一齊に、一時に、御世話する形になつてゐるといふ事です。此の他にも、未だ／＼澤山の制限がありますが、此の二つは、主なるものであります。此等以上の制限より來る弊を、矯める爲めには、どう致しましたら宜しいでせうか。……其は明瞭であります。即ち御家庭の御盡力に待つより外はありません。極言致しますれば御子樣が學校に居らるゝ時間以外の、即ち四六時中の大部分の時間中に於ける、お子樣の行動については、御家庭の責任であります。又學校で、一齊に授けてゐる物事をお子樣自身の理にしつくり合ふ樣にしめ上げるのは、御家庭の責任であります。子供の行動は、すべて、教育であります。朝、お顏を洗ふ事も、朝の御飯を食る事も、朝の御挨拶も、寢る事も、起る事も、おいたする事も、御使ひする事も、すべて教育であります。そうして是等の大部分は、御家庭に於て行動するのであります。そうして見ると、御子樣の教育に對する本家本元は、學校ではなく御家庭である樣に思はれます。そうなると、御家庭の中心となつてゐる、主婦たるあなたの責任である樣に、思はれます。

商況

株式

東京株式（正午急電）

	十日第一立會	前場比較
東株	四六〇、〇〇	、六〇高
同新	四六二、五〇	四、四〇安
商船	一七四、七〇	一、六〇高
同新	一七〇、五〇	二、四〇高
一新	一四二、一〇	、六〇高

大阪株式（至急電報）

	十日前場寄付	後引比較
大株	四四五、九〇	一、〇〇安
同新	四五〇、一〇	四、九〇安
郵船	二四六、四〇	、四〇安
同新	一三八、九〇	、三〇高
商船	……	……
同新	一四三、九〇	、八〇高
鐘紡	四三七、九〇	、六〇高
同新	四二六、〇〇	、一〇安
東紡	三一五、九〇	一、九〇高
東糖	一六七、九〇	……
堂米	二〇五、八〇	一、二〇高
上取	一三八、五〇	一、四〇高

京城現株（標準段）

▲印騰貴　△印下落

	拂込額	時價
仁取	[illegible]	一七六、〇〇
鮮郵	[illegible]	四二、〇〇
電興	[illegible]	一六、五〇
皮革	[illegible]	二五、九〇
東畜	[illegible]	一五、〇〇
朝紡	[illegible]	三三、〇〇
朝紙	[illegible]	三八、〇〇
朝銀	[illegible]	二八、〇〇
同新	[illegible]	一九、〇〇
鮮毛	[illegible]	四九、〇〇
朝煙	[illegible]	三一、〇〇
鮮土	[illegible]	一七、〇〇
東亞	[illegible]	一〇、〇〇
同新	[illegible]	四一、〇〇
中鐵	[illegible]	一五、〇〇
朝鐵	[illegible]	一六、五〇
漢日	[illegible]	一三、五〇
安信	[illegible]	三三、〇〇
錢證	[illegible]	△二二、五〇

出來高平均値

	時價	枚數
朝鮮紡織	三六、〇〇	二五〇
朝鮮銀行	一二二、八〇	一〇〇
仁川取引	一七七、〇〇	六〇
安東信託	三六、〇〇	七〇
滿鐵證	三三、五〇	七〇
東拓二新	三五、八〇	一五〇
西鮮殖鐵	一六、五〇	三〇

反撥力潜在

投機熱抑制策の講究及び之れに對する銀行家の警戒嚴密等の事情は只一時的表面を糊塗するの淺薄なる一材料に過ぎず實際の傾向は明かに思惑者の減少せざるに依り依然押目は買狙はるゝの實勢を明示しつゝあり、特に大株新舊に對しては之れが色彩顯著となり來り居れるは數次記觀せるが如くなるが買方中心の頭然として其態度を支持するものは只徒らに市人皮相の見に據るが如き次第にあらずして今や證券交換所の發現の事項は一時難澁の觀ありし大株增資問題を比較的急速に解決を告ぐるに至るべく促進したる事は明らかなる如く內容の向明せらるゝと相俟つて意外の年內掉尾の活躍を見するに至らんも期し難かるべき形勢なりとす

安信の値開き

安東信託株は昨安東に於ける市場出來値更に一圓方小弛みて二十七圓五十錢に寄付き六十錢に打止め居りて益々不勢に陷り居れるがされば玆にて安値を狙ひて買注文を發すれば三十圓以下では商談纏まらず依然三十圓五十錢より一圓見當を維持し居るよりすれば市場の延取引と現物市場には三圓近くの値鞘附し居れるものゝ如し而して其の上一二圓方の下値を當地の相場へと唱へらるゝ有樣なれば安東株式の報ずる市場出來値と當地相場は常に四五圓方の値開きあるも……

南滿糖聡かり

南滿製糖は昨定期先物四十七圓二十錢と入れ前日來より小一圓上廻りせしを以て當地現物相場も稍引締り四十六圓見當を唱へらるゝに至れり

材料と株式

十二月中に現るべしと云ふ弱材料は枚擧に遑あらざるべきが取分け弱上重大視すべきものは紡績株の增資就中鐘紡の增資如何は指定株の勞頭にある丈其れ丈一般の警戒に關すべし又日銀增資の實現せんも知れざるに對し年末金融の引締りは一般銀行の利上げを見るおそれあるに來年度豫算の膨脹は勢ひ大增稅の止むなきに至るあり彼是れ對照するに於て諸株の値頃が其の居所に依りて暴落こなる暴騰こなるべく殊に大株の四百圓以上は五百圓こ突進するに譯もなく又た三百六七十圓處へ下るも又譯なかるべきに依り十二月は波瀾重疊の落値幅の頗る大なるべき覺悟するの要あるべしこ

現 株
特約店 東京紅葉屋商會 京米山合資會社
公債株式現物賣買
高松商會
京城旭町二丁目一〇番
電話長 二六〇八 六五番
電略 受電ケイセツヤマ 發電ヤヨヌハニ三三番
電話 増設 致候
（拂込不足額未拂込の分も取扱ひ御相談に應じ候）

仁取下げ遊る

仁取株は屢報の如く金融引締めの影響を受けてマバラ筋の投げ物を誘致したるが押目は隙さず堅實筋より買狙はるゝ爲め一般市人の想像せる如き目立ちたる低落を示すに至らず依然百七十六圓處に保合ひ居れり同株は何分實質が實質丈けに少しく同所の內情に通ずる者は言ひ合した如くカン／＼の强氣なれば如何に年末資金に窮したればとて此の上無碍に賣崩さるゝ如き事萬々あらざるべく觀測さる

……見るべく一昨日の二十八圓八十錢の入電後尚ほ三十五六圓の手合せを見たるも強ち不自然と稱し難し而して右暴落の原因としては何等悲觀材料の出現せるには非らざるもの、如く單に年末決濟資金の關係と其他二三の新設會社拂込期の重なりたる結果之等の資金に充てん爲め賣戍人筋の賣崩しに起因せる如しと傳へらる

株式
確實なる利殖法は確實なる現株に投資せらるゝに限る茶商の御方は少額の御資に御用命の節は低利信託の御相談に應ず
ウ 瀨長商會
京城南大門通二ノ三三一
電話長 一七三七番 貳貳五七番
受信略號ケイセツラツ
仁川仲町二丁目電七六九 仁川支店
元山仲町電三三〇番 元山支店

朝紡更に暴落

熱狂後の朝鮮紡織株は漸落歩調となり一時三十七圓處に下止まり居れるが其後更に低落を續け再び三十五圓處に落付き模樣を見せたりしが昨入電は俄然三段目の下放れを報じ三十一圓と一擧四圓方の暴落を演ぜりこれが早耳筋は手持の賣逃げを急ぎたる爲め昨今閑散の折柄にも拘はらず二百五十枚の手合せあり値段は孰れも安附前の三十六圓處に出來したり

賣 現 株 買
○東京の立會初め 來春一月四日は日曜日に當り大阪市場は休會すべく報ぜらるゝも東京市場は毎年の例に依り當日初相場立會を爲すことに決定したり（東京特電）

北濱だより

それ自身すら聊か呆氣に堅い相場だ、鐵よりもとられて御座る昨今の場面、投機抑制だとか、銀行屋連の警戒だとか云つた處で相場が已に微くも其先鞭をのみ附けて居るのだから安くならないのも道理だ、馬鹿に強張る連中も砂ならぬ實際の形勢から見た場面は全くソウカも知れぬ、如何に弱材料は眼前に展開されやうが結局へぬ處は何よりの證左か▲見へ、大株の增資は正に機運に熟して居る、增資は結局明年三月の矢であらうと一般が期待して御座るのであるが其內容は決して然らず▲蓋し此機微は兼方主力筋ゴ自身でもヨモヤ御存じがムッまいと容嘯く者があるは果して如何なる事情の下に如何に進展しつゝあるかは知らぬが花か▲命取りの上取には又候來の雲行ゝから早合點して寄節が大分買つて居る樣であるが空賣でも共買玉たるや九分九厘までの御客である以上、又も命取の一人の御鄰氣を演ずるのではなからうか中々妙くないが何っせ島德一派の手品の種だもの、迂濶に向ふと飛んでもない目に逢ふのは當り前だ

ツ社成立

發て問題となりゐたる資本金二百萬圓のツル醸造株式會社は八日大阪商業會議所に創立總會を開き定款一切を改正し左記役員を選任したりと

社長長田桃藏、常務中谷德七、取締役西村義之、神先慶榮、同岡智、監査役松下牧男、三勢俊、白神邦二、福井甚三、堀家虎造

米況

東京期米特電

▲十日前場　當限寄付 四十七圓四十錢　中限寄付 四十九圓六十錢

◎十日前場　寄付 四九、二二　高値 ……　安値 ……　止め ……

大阪期米特電

◎九日前場　當限寄付 四十七圓二十錢　中限寄付 五十圓〇四錢

◎十日前場　寄付 五〇、〇一　六節 ……　二節 ……　止め ……

神戸期米特電

日後場

◎十日前場　寄付 五〇、三二　高値 ……　安値 ……　止め ……

仁川期米

十日前場 反撥大波瀾

昨後場は阪地の手堅き移りを無視したる地場の賣叩きに依りて六圓六十錢と氣崩れを演じたるも肝心の正米が堅硬にして小手ひより忽ち七圓臺に跳返し止めたる引跡の裡に十一錢と止安を移したるに拘はらず幾分賣過ぎを思はしめし丈けに今朝は人氣一變强硬となり立會へば當限四十六圓二十錢と八十錢高に寄付き中限又六圓十錢と好勢に付先限は四十七圓六十錢よりも二十錢宛引締めしかば中限又六圓丁度より弱氣の策戰買に敗れ八十錢と猛烈に反進み八十五錢と踏錢到し因を先頭に☺其他よ一▲第一節　當限來不申中限六圓七十錢より七圓五十錢◎の買物に殷盛せしが先限又八圓丁度より十八錢より……

京城正米市場

定期の亂高下は正米市場一般の人氣を迷はしめつゝありしも節柄丈けに人氣は兎角下足を望みがちな纏き次第押しの傾向にて今朝は各自の唱へも幾分一定を缺きたるも一般相場としては三等合格四十八圓見當に十八圓地搗上四十六圓三四十錢下押し四十五圓二三十錢に手合せし昨朝來約二三十錢方の下押にて手合をしとして上物四十六圓五十錢より四十五圓五十錢の間にて約七百叺出來せり六十錢より上先何安値へなるも仁川市場……

十日出來高 四千一百石

▲平均値段　一節 四七、〇五　二節 四七、二一　三節 四七、五二　四節 四七、七〇　五節 四七、七二

餅搗相場の發揮

昨後場阪地高を無視して四十六圓六十錢こ不自然の安値に叩き込みめしが投け物の結甫にて利喰ひ一時買方の心臆を寒むからしめを了せし弱氣助は今朝顯然たる度を一變して逆に買手を振り阪地の安移りをも無顧着に四十七圓の清付より捲土重來の勢ひを一氣百八十丁方の爆發を演ぜしが前手口は此時忽ち利喰ひに轉じ更に賣越しこいふ巧妙なる策戰に出でたれば場面大混亂となりて三節は又復七圓二十錢と百六十丁の急激なる反落を演じ跡押目に賣に再び八圓丁度こ跳返し結局二十九錢こ大波瀾裡に打止めたり

仁川米豆取引所仲買人
仁川本町
齋藤榮之助
電話（イヘヤマサ）三六七・三六

東京暴落す

西貢蘭貢米の解禁說も其反應は遂に鄉つて本國の制高を云ふ爲して東京の大阪も依然五十圓近かく一致せる商先は其思はしかなく外米賣下げ等もあり何となく上値林しき歩調に見受けられた一變の模樣こなりて今朝寄付は大阪五十圓〇九十五丁方の暴落を報じ昨後場寄付に比して東京は五十圓門御九十二圓二十一錢と五十錢と昨日前場より二百八十餘丁の大暴落を報じたり各地に比して東京の低落が甚だしきは東京は此際の增加係に買制限は此際の影響が將に仕手筋の振入れたる成行にて限先大阪が之に因るも到に角市場の注目を惹きつゝある處を反撥するか又正米に及ぼす影響如何によりて更に一波瀾を惹起すべしを要するに年中行事の餅搗相場と異なり本年は一段の興味あるべし

移出白米採算接近

白米は今尚當地には移出商談入込み居らさるも昨日來仁川市場に於ては種々商談進捗しつゝあるが如く今段は大阪神著の五十八圓二三十錢處迄取組まれ居れりこいへば京城白米としては五十八圓搗みに當り此邊採算の餘地ある事ともなりたれば眼先多少の注文入込むや知れず

粟更に不勢

粟は定期の亂高下と正米のヂリ／＼軟弱の折柄賣氣益々委縮の一方にて取引頗る閑散なり今朝は當日一二月積一車二十二圓八十錢の一口出來せるのみにて氣配は昨朝より更に二十錢安の見當なるが根先地方筋の註文入込み來らん形勢ありて相當安値狙ひの買物伏在せる模樣なるも人氣して低會待ちの振合ひに賣物甚だ少なし

大豆と綠豆

大豆は前週末以來の不勢に連れ一齊に見送りの姿にて今朝も手合せ皆無なりしも氣配は依然軟弱を脫せざるもの如く綠豆は漸く上値間への模樣なるも品缺乏の折柄相變らず高値の儘に居据り古現物一車は倉庫渡しの三圓五十錢にて出來せり

仁川正米市場

當正米市場は定期亂調を眺め居れるこ年末丈けに買物少々多き模樣なれば自然賣方見送りの風向にて人氣引立ちたり地搗玄米四十六圓三等金四十八圓見當なるも合格品は更に取引行はれず地搗は精米前の買進みに相當手合せ行はれつゝあり

釜山正米市場

內地期米低落の爲め買氣進まず二二十錢安の新米三等神力四十八圓八十錢所穀良四十九圓五十錢所にて二千叺出來

繩叺筵各種
大田 箕浦商店
電話長五二番

▲大豆は澁商內なるが京釜一二十七圓所を唱へ居れり（十日釜山）

綿布は鈍調

綿布は依然閑散氣乘り薄の市況にて賣出充ご行はれず一時拂底を囃されし市中在荷も人氣の惡目に連れて漸次潤澤を唱へられるゝに至れる今日眼先は各手口共實需の如何によつて態度を決せんとする振合ひなれば商當分取引の活況は望み難きものゝ如く茲一齊氣迷ひ動機待ちの姿なれば相場の歩調も自然氣鈍ぶりの傾きなり

鑛油市況漸騰

本邦鑛油界の高調に乘じ米國テキサス州某石油會社の製品搾發油及び器械油合計約二萬箱近く橫濱に入津あるやの噂あるよりスヰ社ライ社は自然對抗的狀態にあるものゝ如し▲發火油は尙市場市價九圓三十五錢こ凡調なるが貨車滯滯の爲め各地區ゝの唱へなり▲輕油は關西以西の市況を引續き活潑ながら關東以北は凡て星し並物八圓三五十錢の成行なり▲器械油は社品社外品共に在荷頗る手薄なるに需要旺盛の爲め手堅く並マシン九圓三四十錢見當を唱へたり▲揮發油は需要殺いて旺盛の爲め高度物は勿論五十三四圓以上六十錢見當の品も著しく在荷減少し最近市價十五六圓以上を唱へ低度物又十四圓以上を呼びて頗る氣支なり

肥料依然强調

肥料界殊に硫安及硝石は依然强調を持續し硫安內地物一、三月渡四百五十二圓四六月渡し四百四十五圓十一、十二月物三百九十上國品十一、六月渡し四百五十圓三六月に比し內地は二三圓米品は約十圓方昂騰し智利硝石も十二月、一月渡し二百二十圓ぐ約三圓方上進し目先氣配は益々氣丈なりこ

東亞商工株式會社株式提供

既設有利事業の株式提供

近時都市生活問題起リ職者ノ研究唱導シツヽアル施設少カラス京城以下鮮內各都市ニ於テモ幾多問題アレドモ就中緊要ナルハ家屋ノ挪居燃料ノ不足之レナリ其原因一ニ止ラズト雖モ建築用木材及一般燃料ノ需給圓滑ナラザルハ其一ナリ斯業經營者數多アリト雖モ其多クハ小規模ナル個人經營ニシテ到底其缺陷ヲ補フ能ハサルモノニ非ラス茲ニ於テ今般斯業ニ關係アル者相計リ山林經營、木材賣買、林産工業、製材、建築材料、各種燃料ノ販賣竝ニ以上ノ附帶事業ヲ營ムヲ以テ目的トシ資本金壹百萬圓ヲ以テ東亞商工株式會社ヲ創設セラレタリ、而シテ會社ノ事業ハ東亞林産合資會社、苦米地商店石炭部、木材部、小杉組經營ノ一部タル堀內商會及岡崎町製材工場ヲ買收統一シ事業全部ヲ繼承スルモノニシテ資金充實組織ノ革新ヲ圖リ業務ノ擴張ト相俟テ刻下ノ社會的要望ニ應シ以テ將來ノ發展ヲ期スルモノナルカ故ニ本業ノ堅實有望ナルハ何人モ之ヲ認メ得ヘキコトヲ確信スルモノナリ即チ玆ニ壹千株ヲ提供シ廣ク公募スル所以ナリ

▲本會社ノ目的　山林經營、木材賣買、林産工業製材、建築材料、各種燃料ノ販賣竝ニ以上ノ附帶事業

提供要項

一、提供株數　壹千株
一、申込單位　拾株以上
一、申込期限　大正八年自十二月十一日至十二月十九日
一、同證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢也
一、第一回拂込金　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢也
一、拂込期日　大正八年十二月十三日
一、割當方法　公募數超過ノ場合ハ當組合ニ於テ適宜割當ス

大正八年十二月九日
京城有價證券現物問屋組合

申込取扱店（イロハ順）

京城南大門通 山口商會　仁川仲町 六三商會　京城永樂町 安田商會　同永樂町 浦長商會　同古市町 山崎商會　同明治町 近藤商會　同永樂町 古田商會　同吉野町 有吉商會　仁川本町 吉田商店　京城水下町 金鐘商會　……丸五商會

京城永樂町 池田商店　同釋井町 一葉屋　同若草町 西村商會　同黃金町 二和商會　同本町 東亞株式會社　同本町 田中商店　同川本町 仁友商店　仁川吉支商店　同旭町 高松商會　京城 中河原重吉商會　角中商會

廣告

官營平壤無煙煉炭左ノ通リ價格改正販賣仕候

地名	種類	大口扱（貨車賣）	小口扱 四半噸以上（千百斤一噸）	五十個入（四半噸以下）	特約店
京城龍山	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、〇七	一三、九四	一、〇五	京城 苦米地商店
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一八、二七	一二、五五	九九	
開城					
仁川	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、二七	一三、一八	一、〇六	仁川 三井物産會社
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一八、四七	一二、八三	一、〇〇	
平壤	第一種煉炭（二十ツ穴）	一〇、六四	一一、六五	九九	平壤 朝鮮商工會社
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一六、八四	一〇、〇六	九二	
鎭南浦	第一種煉炭（二十ツ穴）	一二、四九	一三、四[illegible]	一、〇[illegible]	鎭南浦 朝鮮商工會社
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一七、六九	一〇、九四	九六	
大邱	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、三二	一四、四六	一、一二	大邱 苦米地商店出張所
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一九、五二	一三、七六	一、〇四	
元山	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、九八	一四、一四	一、一一	元山 吉田商會
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一九、一八	一三、九一	一、〇五	
大田	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、八〇	一三、八一	一、〇九	大田 運輸合資會社
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一九、〇〇	一三、[illegible]二	一、〇三	
水原	第一種煉炭（二十ツ穴）	一三、三一	一三、二〇	一、〇六	水原 中島商店
	第二種煉炭（三十ツ穴）	一八、五五	一二、八四	一、〇〇	

○小口扱及箱賣は持込み値段とす數量は御收め御受取被下度候
○右價格は平壤鑛業所御指定値段に就き右以上に販賣せし特約店又は小賣店有之候節は三井物産株式會社京城支店へ御申越被下度候

一手販賣　京城黃金町　三井物産株式會社（電話六〇〇七番）
開城以南特約店　京城古市町一四　苦米地商店（電話九四一番）
開城以北特約店　平壤、鎭南浦　朝鮮商工株式會社（電話平壤五〇一番、鎭南浦一〇七番）

學生募集 京城自動車講習所

本講習所は鐵道局長認可にして東洋一こして著名なる東京自動車學校之を監督し本校こ同一に自動車運轉手▲技師▲販賣員其他世界的に自動車業務に從事するに必要なる學術技術を教授す

●規則　專科●實習科●文外生科の三科を設け專科は毎月十五日新學期を開始し二ヶ月又は三ヶ月とす入學は內鮮何人を問はず初學者を無試驗許可す學資金は入學の際前納す卒業證書を授與し又實習科も毎月十五日新學期開始一ヶ月卒業こす入學は本校の校外生卒業者又は多少自動車の知識を有するものは無試驗許可し生として自動車の運轉練習を教授す最初四圓を前納すれば全部の教科書を一時に送附して速に卒業せしむ校外生科は何人も隨時入學を許可し卒業期間を定めず學資金は九十七圓前納し尤も短期に卒業を望む者は授業料の全額拾七圓を前納すれば全部の教科書を一時に送附して速に卒業せしむ

●注意　右學資金は內地に遊學する旅費に過ぎず且內地に遊學する旅費に過ぎず且內地に比し不明なるものには學資金を徵收せず研究せしむ又資格に應じ文は學術不良と認むるものには卒業後別に學資金を徵收せず研究せしむ

內地に遊學を望む者は東京本校及大阪、福岡の各分校に入學する事を得規則書は申込次第送呈

京城府黃金町三丁目角　振替口座京城七一八八番●電話長二〇三六〇番

豫告　……支那北部……日本海中部……

伊達騒動

小金井芦洲講演

第八十四席

八百長の糺問

荒木和助は庭前へ荒莚の上に高手小手に縛り上げられて控へて居ります、縁側には田村隠岐守左右に松前、浅岡お女中方宿直の面々、ズイと這入つて來た宗勝が 兵『オヽ是りや隠岐殿お早い御出仕……』 隠『これは〳〵伯父上でございましたか……』挨拶をして居る所へ原田甲斐其他悪人輩の面々も出仕になりました 兵『何かは知らず今朝未明に早馬を以ての注進、幼君御寝所間近に曲者が忍び入つて松前鐵之助に取押へられたとか、事間軍で相分らんが如何致した次第……』 隠『左様……鐵之助一應伯父上に前夜の次第を申上げろ 鐵『これは〳〵御後見様お奉行様御一同様に是れより御留置ながら申上げます、前夜は此の通りの暴風雨、私聊か休息のお暇を戴きましてお小屋へ立戻りましたが何となく風雨も激しく心穏かならず、若しお館に變事があつてはならぬ、如何に御意に由つて休息仰せ付けられますればこて斯様な晩にこそお勤めの内のお勤めご再びお小屋を立出でまして、御庭前鎭守大明神に参詣いたし御武運長久を祈りました上御寝所間近の庭先へ参りまするこ、是れなる曲者雨戸に手を掛け足を踏み掛け力に任してこぢ明けんこ致して居ります、其故取押さへましてござる 甲『ア、左様か、曲者の取調べをいたしたか 鐵『イヘ、押へましたる儘庭前に引据ゑございます』甲『左様か、今に始めぬことながら其方の忠節天晴に存ずる、甲斐早速ながら取調べを致すやうに 甲『畏まりましてございます』 縁側近くへ原田甲斐が進んで横山彌惣右衛門こ云ふ者に目配せをした、彌惣右衛門ツカ〳〵と和助の傍に進み 彌『是りや曲者、面を上げよ、面を上げろ』和助は容易に顔を上げない 彌惣右衛門はグイこ摑んで引起す、隠岐守殿が見るこ云ふこ確かに顔に見覺えがある 隠『オヽ、これは常々浪梶之助こ云ふ相撲取ぢやな、先君綱宗公にあられもなき遊里通ひをお勧め申した悪い奴、お家改革の時に何れかへ逐電いたしたこ聞いて居つたが……』こ兵部少輔の顔を流し目に睨みつた、甲斐は今更らしく驚いた風を装ひ 兵『ヤヽヽい汝ア和助ぢやな、イヤ憎い奴があればある者、エ、要若下様へ申し上げます、此奴は前お館の御寵愛、御贔屓仰せ付けられたる力士荒浪梶之助こ申す奴、前お館の御供をして廓通ひ、お家改革の際何れにか逐電を致したるを御後見兵部少輔様が其儘に棄て、置きなば口善悪なき下郎の常、お家内外のことを、世間に流布致してため伊達家の恥辱に相成つてはならんからこ、憎い奴には餌を飼への譬へ、斯る者は我持いたして置く方が好からうこ至極寛大の思召しから鳴神峰右衛門こご神並三左衛門、荒浪梶之助こ荒木和助の二人を納戸役にお召抱になりました、しかるに納戸役御奉公中何がさて下郎こ云ふ者は致し方のないもので、先達御後見兵部様お手許金三百兩、有合したる鮫鞘のお腰一口を盗んで逐電致しました、色々諸方も捜索いたし、一部もお頼みを受けて心當りを尋ねて居りましたが、偖ては昨夜の暴風雨に乘じ、大膽不敵にも當お上屋敷、御幼君御寝所間近に忍び込みしこ云ふは重ね〳〵憎い奴でございまする 兵『今甲斐の申す通り、予の品々を盗んで逐電いたした曲者、また〳〵幼君のお手許金でも盗まんこ云ふ巧で忍び込んだものこ覺えたり、ソレ、和助を嚴重に糾明いたせ 彌『ハツ、コリャ和助面ア上げろッ』。

皮膚科専門 外科 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

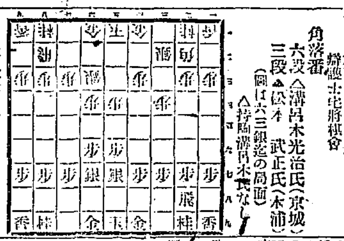
▲御進物用 玄武栗券發行 御歳暮として十日より三十一日迄割引券進呈仕候 壹圓ニ付壹枚十枚五合こ引替 内地御送りの方には當方にて荷造りを完全に致候 京城旭町二丁目 電話一八五二番 玄武堂

將棋新手合(二)

於京城仁寺洞高橋 縦覧平兆將棋會

角落番 六段 △溝呂木光治氏(京城) 三段 ▲松本武正氏(木浦)

(圖は六三銀迄の局面) △持駒溝呂木氏なし



△四八銀▲三四歩△五六歩▲五四歩△五七銀▲三二銀△六六歩▲六(イ)▲六四歩△六八銀上ル▲六二銀(ロ)△六七銀▲六三銀△八八飛(ハ)△八四歩△七八金▲八五歩△七六歩▲七四歩△七七桂▲七三桂△八九飛▲五二金右

(以下次號)

溝呂木六段講評

△(イ)六六歩は力戦趣向なり

▲(ロ)六二銀は悪し八四歩六七銀八五歩七八金六二銀と指す處なり

△(ハ)八八飛の作戦は無理なり

研精三年

松本武正氏は永樂町人と號し文雅を以て聞ゆ、氏は好で將棋に志し餘暇新聞に依りて研究すること三年、今や三段の地位に在り、之れ今門棋士と雖も敬服措かざるところなり。されば江湖愛棋家諸士は日々新聞將棋に注目し、獨力考究、能く入段の域に逃せざるべからず。師は外に在らず、内に在り。乞ふ記せよ成否は各自平素の心掛け如何にあることを。

十二月十二日

(舊)十月二十一日 金曜日 つちのえいぬ ▲八白 鬪うしとら(東南) 赤口 ▲牛▲鬪

▼八白▲注意ぶかくすべき日也

▼九紫▲我意を張らざる限り物事總て圓滿に運び目的を達せん

▼一白▲盛運の日、金錢上其他に於て利益あるやも知れざる日

▼二黒▲左右を顧みて進まば吉なれご常識外の事は宜しからず

▼三碧▲愈々窮すれば通ずる日なれご普通なれば行詰るべき日

▼四緑▲病氣こ盗難注意の日也

▼五黄▲利益を占むるやも知れざる日但し我慾強ければ不可也

▼六白▲案外の喜び事ある日にして吉事多けれご不正なれば不可

▼七赤▲多少の迷ひ起る共考へせば至極[illegible]なりこ惑する日

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店

當る五日より特作特撰大寫眞提供

◎悲喜劇 酸素の製法 米國インターナショナル會社特作 長尺

滑稽 凸坊こ犬の愛 米國アートクラフト社傑作最近輸入

◎喜活劇 出たり這入たり 名優ドーグラス、フェアーバンクス氏がトライアングル會社から轉じ同社に始めて撮影せる珍寫眞

◎塙團右衛門 全五巻 日活本年十月封切大阪七手組の騒擾に十二萬石加藤家瀬の顛末團右衛門忠義の一節より浪人抜大阪入城討死迄 ◎松之助番劇

○毎日一月十五日日曜祭日晝夜開演

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 館收 手製 當る十二月五日より特選映畫提供

▲實寫 第三勇敢なる英軍

▲漫畫 凸坊甜話怪鳥の巻

▲人情哀話 闇 全五巻 丁抹グンマルクスタンダート特作

盲目のマリアは音樂師ジョンに救はれ世の様の見ゆるやうになつたがジョンの醜い為の見て家出したテイラは恐ろべき破獄者で為めに拘引されあアストリツドホルム嬢が演じた悲哀劇

▲怪傑 稲生武太夫

▲▲大阪日日新聞連載松山奇談 日活特作品松之助得意の大奮闘

京都派が必血を注げる近來の大作武太夫一生の武勇を描きたる無双の八番の盛返しの極意を以て狸退治の大活躍八百八狸出るお化が出る人間が空中に上る不思議な實談松山騒動

○年中無休晝夜開館

黄金館 黄金町 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社京城龍山一手特約代理店

當る四日より本年最終の特別大寫眞

▲實寫 海底の美觀

▲漫畫 チャプリンの料理番

▲新劇 怪力鬼勘兵衛 澤村四郎五郎一派天活會社新規特作 佐川阿彌陀氏原作日本三勘兵衛の一人鬼勘兵衛の諸國漫遊奇談(全三巻)

▲チエリーの覺醒 米國コメデー大會社作空前の活喜劇

▲新派大悲劇 空中飛行船 天活會社大阪派傑作久保田清一派演空中の魔王の西脇靜雨氏脚色 俳優の決死的奮闘飛行船な應用珍らしき新派劇(全四巻)

中風病 中氣にて他藥を用ひ効なき如何程慢性の方も癒く程キク家傳良藥有返信料封入申込有れ詳細す 兵庫縣明石相生町 江戸湯

英語 英語の自宅勉強は實力英語講義録規則呈 東京市外淀橋町柏木九三八 精華英語通信學校

急告〳〵急告 毛布 暴落 買時 本毛製特別大判(防寒用優良品) 金三圓廿五錢(一茶、良カキ色)

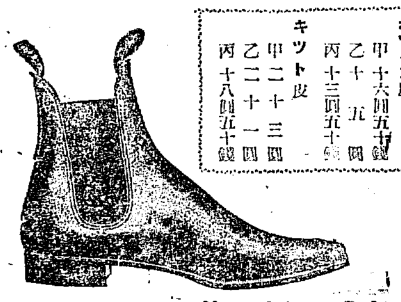
軍隊用と歐洲利加輸出の爲に騰高でとても買付けられぬ毛布も休戦以來の大々的下落は遂に破産者續出の悲慘を來し是非救助すべく今日迄の持越品一手に引受何らゆる物の高い今日に非常の利的なればこそ赤字の代價にて急賣す(優良無瑕疵新製品)旅行家は勿論諸團體代用こして離れでも無くてならぬ必要品ハガキで申込次第受付順に小包郵便で御宅迄送付す代金は其節御支拂下されたし御買入の方は御知己に御吹聽を乞ふ 東京神田株式會社東京毛織仲織店

上等日本種 もち米販賣開始 多少に不拘御注文仰付願上候 京城本町三丁目六十四番地 電話八五四番 振替七二七番 勢一精米所

痔疾専門 京城明治町二丁目(本町より入る中央) 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番

資本金 六百萬圓 積立金操越金百貳拾五萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府黄金町二丁目 電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八貳三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

優美堅牢眞に履具合良き 靴の部代理



ボックス皮 甲 十六圓五十錢 乙 十五圓 丙 十三圓五十錢
キツト皮 甲 二十三圓 乙 二十一圓 丙 十八圓五十錢

編上及深ゴム同ネダン短靴はボックス三圓キット三圓下り 地方よりの御注文は御一報次第寸法取り圖解御送附可仕 尚既製品御入用の向は靴種見本の数其他御通知願上候尚安價のもの有之候へ共責任販賣致兼候

京城日報社代理部 振替京城三百番

▲軍隊拂下大安賣 茶褐、黒、毛布、多都襯襦、ジヤケツ、軍靴、靴下、アイボーシャツ、雨合羽 右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候 龍山元町二丁目 川本衣服店 電話[illegible]

胃病ならイイの一番 イカイ胃散

登録商標

衛生堂 胃弱症の特効劑 健胃散

驚くべき藥効

イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を強壯にし消化力を増進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺ね、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾こ元氣は著しく増加すべし

定價十五錢、卅錢、五十錢、壹圓、貳圓

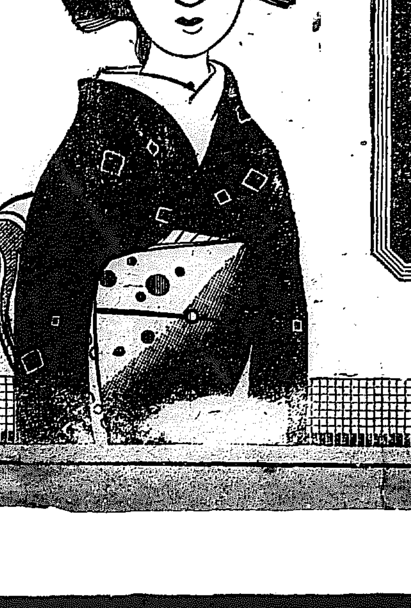
本舗 大阪市江戸堀 猪飼史郎藥房 振替大阪七七八番

全國藥店にあり

一番よくきく アレ止は クラブ洗粉本店謹製の クラブ美身クリーム

此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くもたるの光榮を辱うしつゝあり。

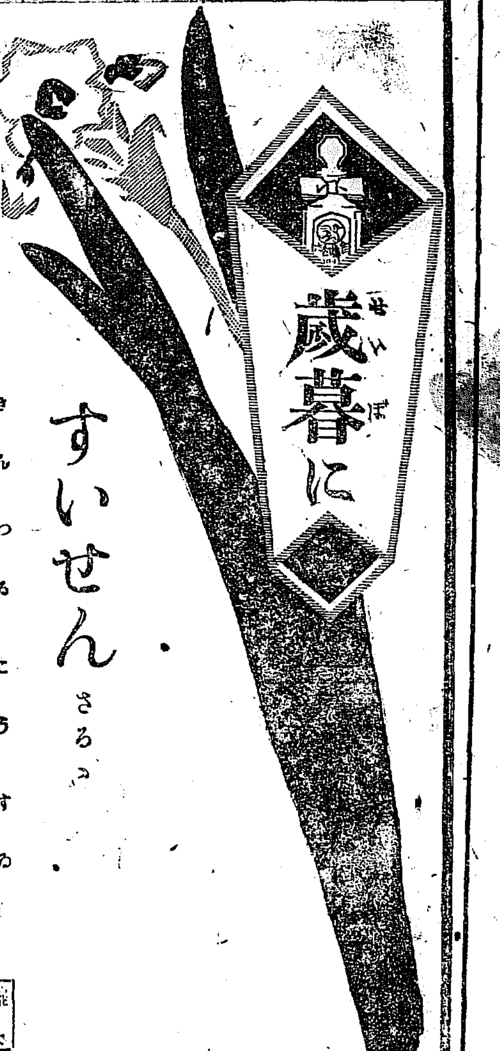
皇后宮職御用品



歳暮に すいせん 金鶴香水

御贈物に何處の御家庭にも大歡迎!

大阪 大崎組商會 東京 長瀬商會



父木谷安吉急病にて本月九日午後八時半死去致候に付來る十一日午後二時自宅出棺龍山元町一丁目興國寺に於て葬儀執行可致候間此段謹告候也

大正八年十二月十日 京城府龍山鐵道官舎内

女 正子

親戚總代 木谷周市 水利新五郎

友人總代 大和與次郎 石原磯次郎 大村百藏 奥野長吉 藤田安之進 木村稔 渡邊與三郎 貴田音七

京城日報
（年中無休刊）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田道　印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

天道教と侍天教（六）

渡邊彰氏述

然るに此の時に當り東學の承統者として侍天教の中心人物たる崔時亨は如何なる態度を執りて之に處したるかを考察するに、宗教と宗教の混同を非とし一方に於ては東學の擾亂を悦ばず一方に於て教理を說き信徒を監督し一方に於ては孫秉熙を説破屈服せしむるに努め一方に於ては教徒の賦錢を嚴に禁じ淨財寄附を勵ましたり是れ彼れが教勢の根本を鞏固ならしむる方策の最も優秀なるものと信じたるに因るなるべし。然れども洪河決堤の勢ひある群衆の横溢は到底制止の功を奏し得べきにあらず騷亂の度は益々強烈の歩武を進め翌明治二十八年乙未の歳（李太王三十二年）東學黨蜂起の時に至るまで此の現象を持續し遂に崔時亨の宿論たる政治と宗教を混同するを不可なりとする說は之を實行すること能はずして終に侍天教が瓜分並立の實相を呈する端緒なりとす

第五　系統分派の經路

明治廿八年乙未の歳（李太王三十二年）騷亂の首領たる全琫準は捕へられて京城に押送の末死刑の宣告を受け徐璋玉、恐く鎭壓亨の踪跡を追索するところは益々嚴ならざるを得ず。茲に於て崔時亨は股肱と頼む門人を率ゐて巧に其の踪跡を韜晦せり。一時に此時江原道麟蹄の山中に潜みたりと云ふ越て明治三十年丁酉の歳（光武元年）十二月二十四日孫秉熙に所傳の教統を付授し尚ほ教勢挽回を策するに考慮を旋らしつゝあるに方り明治三十一年戊戌の歳（光武二年）四月六日江原道原州郡雉岳山に於て遂に捕せられ其年六月二日京城に於て刑場の露と消へたり。叙して茲に至り思ひを旋らして一考するに崔時亨は騷に臨みて心を索さず宗教者としての措置を誤らざる心操を暗したるものと云ふべし。何となれば勢ひの趣く所を見て大勢に順合し臨機の處置として宿志を枉げ衆議に同するは人の常情なるに余輩が古阜に反旗を揭げて時の政府に反抗するに方り祖訓を守りて教徒を戒め其亂に加はるを避けしめんと努めたる苦衷は酌みて察するに餘りある苦情の溢るるものと云はざるべからず故に假令東學系統の頭目たる崔を以て根を絶ち葉を枯らすの政策に重き刑罰に處せられて其身を終ることあるも人に臨み節を守りて動かず此の操守を誤らざりし一事は長く模みて修心正氣の訓辭を奉じたるものと謂ひつべきなり。

東學派統の三祖崔時亨が死刑に處せられたる後を承け其の第三世の大道主となりたる孫秉熙は明治卅三年庚子の歳（光武四年）に至り其の就職式を擧げて教徒一般に披露したれども國内の騷擾未だ所思を行ふに利なきを看破し將來十年を期して外遊を試み各國の狀勢及び文物進歩の程度を視察せんと發言し教務一切を李容九及び金演局に委せて渡航せり是れ實に明治三十四年辛丑の歳（光武五年）の事にして當時李容九も俱に隨行せしと云ふ

才軍益々退却

頽勢回復困難

西伯利軍の形勢はオムスク撤退以來日に益々非にして今や頽勢又之を如何ともし難き悲境に陥りたるの觀あり過激派軍は沿道の過激派を集めて兵力漸次優勢となり依然東進を繼續して西伯利軍を壓迫しつゝありノウニコナスクに在りしコルチャック提督はクラスノヤルスクに引上げ

西伯利軍 は最近インスクを撤退したるが如し然れども是素より當然の成行にして亦已むを得ざる次第なるが今後は遂に政府の移轉地たるイルクツクまで退却するの外無かるべし西伯利軍が斯る悲境に陥りたるは種々の理由あるべきもコルチャック提督の執政恐く國意に添はず之が爲に國内人民の間に融和統一を缺き職總と後方の連絡完全なる能はざりしとチェック、スロバック軍が數年間の西伯利滯在に歸心矢の如く戰意を失へると更に最近唯一の味方たりし聯盟軍が離反したる是にして新内閣の成立も未だ此の

頽勢を如何 ともする能はず然れどもイルクーツク中心に聯盟國軍隊の各要點を守備せるあり西方過激派軍と我帝國軍が直接衝突抗せんと欲するの意志は之無きもの、如くなるを以て西伯利軍にもイルクーツク前方の陣地に於て踏み止まる可く今後興奇の間には尚ほ相當の戰闘等は勿論之れ無きも爲し難き事の考ふる可く當分は双方互に對峙の狀勢を繼續するに至らん

生別死別

（不許轉載飜譯）　服部硯月

第六八　一管の笛

『あゝ是で氣分が好くなつた、本統に君が何だかね、撥の報いは一生の中に來るのもあれば、子孫の代になつて始めて來るのもある、或は一家の爲に一國の爲に、世界の爲に、そして開闢以來幾千萬年の終局の決算は取りも直さず天地創造の大目的たる眞善美に到達した時期である。本統に君分つたかね』

『本統に能く分りました、暫らくお休みになつたら如何です』

『罪方う心配して呉れ給ふな、今言ひ遺さなければ遂に其機がない。併しもう職に言ひたい事は云ひ盡した、お美代、お前もこんな俺の所になぜ來たらう、荷枝もこんな親の許になぜ生れて來たらうかと後悔もしや、う、殘念にもあらう……』

『なんの勿體ない』

『お父様決してそんな事は思ひません』

『いや今思はんでも何時か思ふ時があるかも知れん、富に生れるも、貧しきに生れるも、賤しきに生れるも皆生れながら既に豫定せられてある、然し人力を盡して天命を待つとは今も昔も變らぬ至言である、吾々は何處迄も眞善美に向て向上しなければならぬ、先刻も云ふ通り荷枝お前は一生獨身で暮して貰ひたい、他家に行つて此の純潔な血統を汚してはならぬ今夜父は此所に絶命し靈魂は形骸と共に朽ちて仕舞ふ今俺の云ふ事は明治三十九年の二月二十……何日であつたか』

『廿五日で御座います』

『さう三十九年の二月二十五日の三浦重之の知識の程度に於ける遺言だ、今日は昨日と移り行く世の中に、五年十年先の世の中の狀態が今の俺の身に分る譯のものでもない、國の法律さへ朝令暮改だもの、畢竟お前の將來の苦觀を輕くさせやうとする老婆心に過ぎないのだ、父の今夜の遺言を念頭に持つて更に最善の方法があらば夫を選べ、死んだ父に氣兼ねは要らん俺の沒くなつた後は井上さんに萬事相談をせい、井上君！是から後一方ならんお世話になるが、居君の面倒を賴む、是迄とても一方ならんお世話になつたが……』

『委細承知致しました、奥様やお嬢様のお身は決して御心配なく……及ばずながら御保護申します』

『お父さん、もう嫁きませんから何卒遊ばして下さいまし』

『お、可哀相に、それから井上君、祗上兒に僕に代つてお禮を述べて呉れ給へ』

『承知致しました、大分お疲れの御樣子ですから暫らく御休息なすつたら如何です』

『いや構つて呉れ給ふな、是れで全然胸が透いたやうな氣がする、何事も言ひ遺す事もなければ思ふ事もない、三浦重之の人生に生れた義務も責任も總て終結だ、お、さうだ、一生の別れに尺八を吹かう』

斯う云ひつゝ傍に在る尺八の袋を取上げて膝ずまゐを直さうとして急に此前から痛んでゐた膝關節に痛みを感じて倒れやうとした。

美代子は傍から手を添へて抱き起した、肌に觸れた手に少なからず熱を感じた。

『旦那様、大分お熱がおありになるやうですが、此次に遊ばしてはいけませんか』

『今夜が別れだ、何だか今夜は非常になく氣分が好い、お前さん達も永く此處にゐる譯にも行かん、尺八を吹いて吹き死すれば却つて本望だ』

斯く言ひつゝ綿に鯨の袋から秘藏の一管を取出した歌口を濕し、律を調べた。

一室は徐々暗くなつて今にも雪が降りさうに世の光一つさへ見られぬ、井上は細切れや古下駄の燃ゆる爐の火を前に掻立てた。

神仙爐

蜀山人の狂歌（三）

剣花坊

その新年の狂歌に

生酔の禮者を見れば大道を横すぢかひに春は來にけり

は面白いが

あら玉のことしの始めの畫讃草稼といふ字は其中に在り

は理窟と洒落で、後世の狂歌を墮落させたのは斯うした句を猫のやうな人が詠んだからだ。

一刻を千金づゝにしめあげて六萬兩の春のあけぼの

は理窟で理窟を離れ、しかも雄渾なこころがある。

一面の花は碁盤の上野山黑門前にかゝる白雲

このもこ白この碁石、かういふことをいふのが狂歌師の手柄になつたのもヤハリ眼で、蜀山にも有る

寶藏に掛し血赤の幽干は流れもあへぬ紅葉なりけり

『鼠山御宮の山』をもぢつたのだが、すこしこしらへ過ぎてゐる

◎活字　擴張の爲め特價販賣　京城明治町貳丁目二六 振替二三五　櫻井活版製造所

勅題の詠み方　四六版美本全一冊　正價金五拾錢　送料金二錢
「家草梅」ありふれたる歌の如くなれども作例は極めて乏しき試に歌集中より二三十部の歌集中より一首を得られざらんにこれこそ本書の猶豫といふべけれ專門家なる著者が苦心探索せる作例參考歌一百五十首は實に顯つる好範國なるべし解題、詠方、歌調一詳説明あり毎年例によりて出版仕候御購讀に本書は宮中歌會始の月桂冠を得る一階梯として懈らず讀むべき者に仕候
發行所 大阪市西區新町北通一丁目 振替大阪三一八〇四番 岩井萬文堂
發賣所 大阪市淡路町四丁目 振替大阪四十三番 大阪寶文館

新學期開講●大特典提供●目下入學の最好機●速成一個年卒業
漢學講義録
本會講師は漢學界の大家にして講義平明新界第一の講義錄也 振替口座東京二二九四番 ●神田今川小路 帝國漢學普及會
講義錄見本付會則 郵代進呈

大隈侯主宰　大觀（十二月號）
世界改造の根本原理　主幹 五來素川
改造の根本觀念　江木翼
地主と小作　地主對小作より農村對都會　物納と金納　小作問題に就いて　小作法制定は時機尚早　農學博士 横井時敬　貴族院議員 仁尾惟茂　農商務局長 道家齊　政友會政務調査會長 上山滿之進
生物學上より見たる同盟罷工　理學博士 齋藤吉三郎
大正九年度豫算管見　法學博士 小林丑三郎
社會政策は祖宗の遺法　大隈侯爵
選擧權擴張の必要と其程度　押川方義
世界大戰勝敗の眞因　騎兵大佐 河野恒吉
勞働會議に於ける各國委員の人物評　◆政界裏の奥（戰爭の前景）
古代東西洋の交通　文學博士 久米邦武
帝國學士院の根本的改造　理學博士 一戸直藏
大隈侯爵座談　文藝と社會　片上伸
千羽鳥巴里巷談　一夜　田山花袋
大正八年の會話　奇妙な小話　佐藤春夫
慈悲鍋　大山蕃
定價一冊 税 一年 東京牛込市谷加賀町九三番 大觀社 振替東京四〇九六

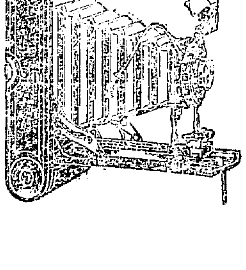
簿記 通學 通信 教授
男女生徒募集 本科四ヶ月卒業の上責任紹介就職せしむ
大阪西區二丁目六ノ一九 簿記會計學館
規則書二郵券添付

一、マニラロープ　右 拾巻
一、ダイナマイト　外二種
右購買ス詳細ハ十二月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

齒科
技工士養成　小學卒業程度の男女は誰にでも僅か三ヶ月間で自宅で傍ら習得し得る技工士となれば高給で就職でき收入多大なる營業を開業し得
實地研究
將來有望なる齒科醫界に身を立てよ
東京本郷區駒込町 日本通信齒科學校

法人登記
湖南銀行（株式會社）組合安山…
大正八年…
光州地方法院木浦支廳
利川出張所

謹啓
今般新築落成左記の個所へ移轉仕候間何卒倍舊の御引立御愛顧願上候　敬具
京城南大門通一丁目七番地
（殖産銀行向側）
鈴木商店京城支店

一年中のボーナスと資の買物

イーストマン會社より前注文の着荷仕候爲め此分に限り右之通り割引致候
但し本月中の豫定に候へ共賣切の節は次回輸入分は定價に復し候間至急御買上願上候
京城南大門通三丁目
上田寫眞機店
京城支店
電話五四九番
寫眞機 一割引
諸材料 壹割五分引

皇學講習録　速成 講習録
國家講習錄
本邦創始　養成講習録
新式通信授業を以て一般に授け速成三ヶ月にて講習生を募集す
養成十三詳細規則無代進呈　東京市本郷區…町二 通信工手學校

質問隨意
國民法律
日常法律顧問 實際問題滿載 判決例、學說 評論一目瞭然
年極前金會員 質問鑑定隨意
一年分郵税共壹圓一部十錢
十二月號（第八百號）
民法前の遺産権利 時効停止の更新 電話の讓渡し擔保 養子離縁の方法 債權移轉と新地 株金額變更の經濟策 自由結婚の要件 小切手の濫用 私生子の爭ひ！！
（外數十項）
東京市麴町區紀尾井町 國民法律社 電話番町一六七七 振替東京四七六九

米國農學博士 進士織平先生著
豚の飼方と利殖法
定價金一圓二十錢
四六版洋装兩入紙數百六〇頁圖入定價金一圓廿錢（送料不要）
此頃益々嗜好が盛んになつて來た豚は牛馬等の食べて廢物を以て飼育し而も半年手數二十貫位の中豚となつて四十圓程に賣れ、繁殖力の旺なる事は驚くべきものである。本書は博士が數年の實地經驗を基礎とし最も有利なる副業として豚を飼ふ方法を說き良豚の選び方等より無經驗者に分り易きやう詳說せられたる養豚家の一大寶典也
發行所 東京市小石川區大塚坂下町 振替東京四八一一〇番 東洋出版社

東洋紙器株式會社株式募集

將來工業界の權威たる紙工事業

絶好唯一の放資株

最有利なる紙工事業　紙工業は單に製函其他の紙器に限らず歐米諸國に於て現に車輪鐵管は勿論飛行機船舶等の建造に應用すべく研究に着手し本邦に於ても壁板、天井板、皮革、絹綿絨布の代用として最も堅牢、優美且廉價に製造し得られ現に好評を博しつゝあり、蓋し將來工業界の支配權は紙器の掌握すること既に識者の信じて疑はざる所以なり

紙器會社の盛況と高率配當　紙器會社の發達の歴史は未だ日淺きも日本紙器製造會社は大正二年僅々五拾萬圓を以て設立せるに不拘事業の盛況と共に同五年二百五十萬圓に增資し更に壹千萬圓に增資す、即ち如斯急劇なる資本增加に不拘配當率は漸時昂進し一面同社の定期市場の株價を見るも

舊株（拂込五十円）　百円以上
新株（拂込貳十五円）　五十円以上

の市況を保ちつゝあり然も創立後僅々六ケ年にして叙上の好況を示せるは要するに絶對有利なる事業の性質に外ならず

本社の特長　本社は斯業の最も著名なる日本紙工業合資會社を繼承し擴張せんと欲するものなるを以て會社成立と共に直に豫期の利益を計上し得べく且同社長にして斯業の權威たる大村俊雄氏の絶對的確信を以て本社の爲め永久努力すべく誓約せられたるは本社の最も幸福とする所なり

利益の確實と配當保證　凡百の商品の裝函の如きは一回使用後放棄さるべき消耗物として其他需要の廣汎無限なること論を俟たず、且斯業の權威たる工場主大村俊雄氏の絶對年二割の配當を保證せることに於て唯一無二の投資物と云ふべし

募集要項
一資本金總額　金參百萬圓
一壹株ノ金額　金五拾圓
一募集株數　八千株
一申込株數最小限　拾株
一申込證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢
一第一回拂込株金　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢（證據金ヲ含ム）
一申込期間　大正八年十二月五日ヨリ十三日迄
但し北海道、臺灣、朝鮮及び滿洲地方に限り申込取扱期日を來る廿三日迄延期す
一募入決定方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す

發起人
大村俊雄　松本信太郎　吉田秀彌　小澤浩
尾崎敬義　鈴木久次郎　奥田大造　山田雄
土井能市　矢崎好一　都筑六郎　土屋復
高橋德之助　宮本庸造　大河原章弘　（以下省略）
河野英良　森村良策　曾根原重太郎
井上忠直　五百木保義　野崎舜三郎

株式申込及株金拂込取扱所
[illegible]

東京市京橋區銀座二丁目十番地（銀座大通）
東洋紙器株式會社創立事務所
電話京橋六一五番　振替口座東京五〇三六七

對獨行動峻烈

聯合國側の主張によれば獨逸に對する聯合國の最後通牒は最後通牒と見做さゞるを得ずこれを最後通牒とせば獨逸の封鎖と更により以上峻烈なる行動とを再開せらるべし聯合國側は獨逸俘虜の故國送還及びスカパフローに於ける不信なる艦艇自沈問題に就き讓步をなすこと能はずと(巴里電報)

批准國々際會議

條約批准後にては新に國際會議を組織すべし(巴里電報)

對羅猶豫期間

最高會議は羅馬尼に對し最後に提出したる國際問題解決條約及び講和少數民族條約調印問題並に同國一般形勢に對する羅馬尼の回答に關し更に六日間の回答猶豫期間を與へたり(巴里電報)

戰爭責任と獨帝

英國首相は下院にて戰爭に關する犯罪に就き責任ある人々の目錄に由り今や訴議進行中なりと說けるも獨帝が其中に在りや否やは明言せざりき(倫敦電報)

羅國新內閣成立

羅馬尼新內閣成立せり(倫敦電報)

ダ氏フユーメ撤退否認

ダヌンチオ氏は未だ伊太利の救世主なりと自ら思考し彼がフユーメを撤退せんとすとの報道を否認し其事業は今や漸く開始されたるのみなりと揚言せり(倫敦電報)

伊國罷業失敗

伊太利に於ける勞働者の總同盟罷業は失敗に歸せり(巴里電報)

濠洲罷業重大

濠洲に同盟罷業勃發し形勢險惡に向ひつゝあり(巴里電報)

日人土地所有防止

日本人の土地所有防止の爲め比律賓に土地法施行せられたり(紐育電報)

坑夫賃銀要求割

米國坑夫側代表者は新賃銀案に同意せるが坑夫側は一割四分増を要求せり(華盛頓電報)

露勞農使節揚言

露國勞農政府使節リドヴィノフは揚言して曰くコルチヤツクは日本軍の援助無くば再び出現する能はず又デニキンの根據地は今や不安にて近き將來に沒落すべきは必然の運命なり(倫敦電報)

過軍損害甚大

過激派軍はナルヴアルにてエソニア軍と戰鬪し多大の損害を蒙れり(上海電報)

哈爾賓事業勃興

南北滿洲殊に東一帶西伯利地方に於ける糧食及び日用品の輸送は概して哈爾賓を以て之が中心とせるを以て歐洲商工業家資本家は哈爾賓に集まり工場及び銀行其他營業を開始するもの日に增加し又商業視察の爲め遊歷するもの多く英米佛人最も多數を占め居れり(哈爾賓電報)

靳內閣の新方針

靳內閣は近く議會に新方針を發表す可し右內容は軍隊撤裁、租制整理、人材登庸、教育向上、商工振展、政策の確立、經費節減にして既に之を各省に送電せり(北京電報)

對獨調印要求

[illegible]

廣東聯盟代表者

廣東政府は王正廷、吳廷秀兩氏を國際聯盟の代表者に任命したり(上海電報)

活佛密使派遣

庫倫自治取消に關し活佛は不滿を懷き英米各國に救助を懇へんため密使喇嘛を發し密使は上海に赴き同地より歐米に向へりとの說あり(北京電報)

奉天省財政整理

張督軍は豫て奉天省の財政整理に就き着々計畫を進めつゝありしが大體の基礎成りしを以て中央に向け傳達することゝなりたるが其內容は奉天省現今の外債は約三百萬元なるも每年の收支は約百五十萬元の剩餘をなすの狀態なれば茲二三年を經ば償却し得べくされば此際專ら內政に注意して財政を整理し且つ各稅源を改革整理し其の整理に依りて得たる資を投じて中央の財政を救援すると共に地方軍政の費に充てんとするものなりと(奉天特電)

寬城子全く解決

支那謝罪的文書を致す

北京政府は八日午後小幡公使に對し支那軍隊の不規律に依り寬城子事件を惹起せしを陳謝し日本政府の寬大なる態度に對しては誠意を以て報ゆる所ある可しとの謝罪的文書を送り之にて同事件は全部解決せり(北京電報)

曹軍團長不信

吉林軍團長曹輔廷氏は元來馬賊出身にして其行不良なるを以て嘗に吉林民衆は奉天張督軍に其罷免を申請せしも曹團長が人民を虐殺し農民を强迫せる等の事實を告訴せし爲め張氏は吉林督軍と謀り其罷免を[illegible]すべしとの說傳は[illegible](吉林電報)

平壤商議當選

平壤商業會議所役員選舉評議員會は十日午後五時開會評議員選舉前より激烈を極め居たる爲め[illegible]役員選舉前二三の議論ありたるも豫定の如く進行其の結果左の如し(平壤特電)

▲會頭松井民次郎▲副會頭奧田延之助▲同久保和吉▲常務委員村井正明▲同內田錄雄▲同中平岩造▲桑田信助▲同李德煥▲同韓允燦

哈市商人露貨不使用

哈爾賓支那商人は在奉天各商店に對しての交易は奉天紙幣或は中國交通兩銀行及び大洋を以てし露貨を用ゐず又黑龍省に於ける各交易は多く吉黑兩省の官帖或は吉黑兩省の小銀元紙幣中國交通兩銀行新發行の大洋本位の爲替券を通用し露國紙幣を使用せざる傾向あり(哈爾賓電報)

情報局と伊集院大使

既電の如く外務省にては外交統一の爲め近く情報局を設置すべく伊集院大使歸朝の上外相を輔佐し情報局の機能を發揮するに至る由(東京特電)

日銀貸出警戒

日本銀行は貸出を警戒しつゝあり(東京特電)

鐵道特計決定

旅客運賃引上期

鐵道院の九年度特別會計豫算は既に決定し明年度に於て一億圓を公債に仰ぎ旅客運賃の二割五分引上を斷行する事となりたるが來年二月頃より其引上を見るに至るべしと(東京特電)

米棉引續低落

[illegible]の低落を告げたり之を邦貨に[illegible]

海運界近況

石垣朝郵取締役談

例年昨今は米穀出廻り旺盛期にて海運界も繁忙を告ぐる時期なるも本年は例の旱魃の影響を受け一般に米穀の出廻り遲延せること虎疫猖獗を極めたる結果陸路の輸の圓滑を缺きたることにて出穀狀況兎角捗々しからず從つて海運界も未だ繁忙を告ぐるに至らず現に橫斷航路の如き往航八西噸位の積荷あるに過ぎず又阪神直航船も積荷多からざるが最近の情報に依れば年末に接近し漸く出穀增加の傾向ありと云へば米穀荷動きも今後之を期待し得る見込なり尤も全羅南道木浦地方は米、大豆共に相應の出穀あり同地方の被害なかりしを以て沿岸各港より釜山に至る航海は何れも盛況の姿なるが翻つて內地よりの移入荷物の狀況を見るに旱害の爲め當然購買力の減少を豫想されたるにも拘らず前月以來殆ど空前の入荷ありて其の主要なる物は綿布類日用雜貨等なり然し大體に於て本年末の海運界は昨年の如き好調は望み難かるべしと

仁川官民送別會

[illegible]

京城金融商況

朝鮮銀行調查

十一月の京城金融は月初以來綿布の奔騰は綿布商に一側に息吐かしめたれども新に在荷及び先物の輸入買入盛んに行はれ及び初秋當時の慘狀を惹起するに至らんかを憂ひ矢先綿糸布の制限の令布ありて一時當業者をして躊躇せしめたるが如きものあり加ふるに新設會社の拂込資金代用雜穀輸入資金及び一般多物仕入資金等の需要旺盛にして金融の前途は依然繁忙を告ぐるものと豫想せらる商況の概略左の如し

米 農民側の資力充實と本年米收穫減少の悲觀等にて賣惜み出廻り[illegible]に伴ひ地摺新米上物四十七圓の高値にて行きすぎの觀あり

綿布 新物價奔騰に連れて一時好調にありしも買需尚ほ不足にして一般人氣浮動の嫌み脫け動もすれば內地高に誘はれ漸く三A九龍とも五百九十八圓見當なり

砂糖 海外產地の硬勢と需要增進とに因り漸次昂進の氣勢に向ひT印卅八圓にて越月せり

牛皮 鮮地產の出廻期にある時節柄不乾燥季とにて下向の傾向にありしも支那品の銀高と其他にて內地輸入僅少なるため多少約上りの觀ありて大小上物百十圓見當なり

大豆 米價の續騰と內地の好調とに因り買手多く今や三十圓を突破せんとする氣勢あり

粟 米豆の高値に伴ひ各手筋買手大に引立ち滿城物二十四圓の値頃にて越月せり

獨逸の將來(四)

革命の眞相(四)

在伯林本社特約員 上田碩三

事態茲に及んで伯林の休戰の吉報と共にカイゼル退位の報を俟つた、斯くて漸く秩序は尚依然として緊つて居た、只其內容に於ては今や群衆は動搖し始めた、群衆は初め二三の心裡は正に醱酵の狀態にあつて次に一日、終に三日[illegible]各工場の職工には休戰速進のためストライキの命令を待つて居た、[illegible]して十一月十一日に至るまで繼續せられずんば直ちに革命的總罷業を斷行するの旨を[illegible]した、當日余(ターゲブラットの[illegible])は[illegible]

ストライキを斷行するの旨を[illegible]した、温和社會黨は既に休戰の促進のためエルツベルガーが[illegible]選されたる以上其の成功は[illegible]して俟つべしとなつて[illegible]吉報を待つ[illegible]此際吾伯林政府[illegible]は休戰條約[illegible]

[illegible]であつた、ターゲブラットのフオルヴェルツに到著してから余が[illegible]エルト社に到著してから少時[illegible]つて獨逸帝國宰相の名を以てカイゼル退位の布告は發せられそれは軍隊の大反對を排して布告せられたのだ、そして布告は市內の隅々まで配付されやがて一時の後王宮附近一帶の兵營は其の軍隊と共に悉く新しき自由のために提供され、收穫はエーベルト及びシャイデマン兩氏の手に委ねられた、

獨逸國民は

斯くして新しき自由を得た、而も此の瞬間に於て市民は固より[illegible]中すら、そのあまりに唐突に而して急激に齎ち得た此の新しき自由を如何に取り扱ふべきかに就ては殆ど之れを知らなかつたその空的林市內に起つた種々の出來事は一恰も露國革命當時に起つた訓練なき所業は正に此の急激なる人心の變調を語つて居る、[illegible]通機關は悉く杜絕し上の家は皆固く戶を閉した、[illegible]

兵士が銃劍

を著けて[illegible]が俄に飛み提げて町の角に立つた、戰場を見た事もない若い老兵士や士官の肩章を脫せしめた、赤旗を立てた一隊の群衆は主要な通りを步き廻つた、自動車の上からは興奮した演說が到る處に叫ばれた、總て是等の光景は殆ど全く露國の例に倣ふたか、而も殆ど流血の慘を見ずして行はれた

鮮滿片々

拔荷と小賣組合

群山小賣商組合では同地到著貨物の拔き取り被害頗々たるに鑑みこが根絕に付き大活動をすべく同地商業會議所を通じて群山驛運送店仲仕組合各運送店等に一層嚴重方に付き夫々希望條件を致した(群山)

對手方を失

ひ結局之を無諾せざるべしと云ふにあつて從つて各政黨は皆國內の秩序を保つに沒々として努むる一方

水產會社新計畫

馬山に在る水產會社は資本金五萬圓の小規模にして今後益々發展を期する同地としては餘りに資弱であるのみならず該資本では大活動は望まれない故今回新に三十萬圓の資本金を以て別に獨立せる水產會社の計畫成り其の成立の曉には現水產會社を買收する內約もあると云ふ(馬山)

長箭捕鯨不況

[illegible]に於ける捕鯨船天富丸は十一月二十五日に月彼島西北八[illegible]

之を護衛す

る事を見るに史に屆上赤旗の雛を見た、軍隊も亦革命に參加せる以て居るが結局なるを見たが[illegible]共に總ての事は更め[illegible]て尋ねるまでもなく悉く此の[illegible]

湯錢値上陳情

[illegible]の神に起種五頭の游泳するを見したが尤來同種は佯罪常に[illegible]で追尾意の如くならず遂に取り逃した又二十八日同じく[illegible]東十三浬の沖合で[illegible]頭を見したが之も亦見失つた(長箭)

安東湯屋同業組合では此程協議の結果燃料費騰貴の爲め現在入浴錢七錢を十錢に引上げんこと其筋に陳情書を提出した(安東)

埠頭作業順調

目下大連埠頭作業に從事する苦力は先般來募集を爲したると共に方面より南下し來りたるもの多きとに依り不足を感ぜず每日平均一萬二千噸乃至八千人の苦力を使役し七千乃至八千噸の作業を爲して居る船舶の積卸の如きも一日平均一萬二千噸の作業を爲し其他陸上貨車積卸等の作業を合算すれば一日平均四萬噸の作業を爲して居る此狀況にては今後船舶の積來するも作業上の遲滯

豫算審議進捗

數日中に決定

東上中なる水野政務總監は目下當局と九年度總督府豫算に關し折衝中にて着々審議を進めつゝあるが數日中に決定を見る可く二十日の首相邸に於ける豫算內示會に於ては政府の主張する額を大體認めた[illegible]筋に消息ありと

脈袋問題協議

大連混合保管用脈袋に關する件は從前より重大視せられ過般の地委員との間に大論議行はれた特權問題に於ては大連委員と荷主との間に格附標準の見合あり遂に其の豫算[illegible]品に付きの相違あり實行の[illegible]に於て[illegible]斯る混合保管は是等の問題の爲め頓挫を來し協議を重ね居るも未だ解決に至らない五日の委員會にては單に行き詰まらんことさへ稱せらるゝ組合にては五月來委員會を開催し協議を重ね居るも[illegible]脈袋中舊二等は不適當なる物と認め六日午前中に舊二等品は一枚宛各委員より組合事務所に提出し同日三時半より委員會を開き[illegible]議を重ねることなつた(大連)

鳥瞰錄

伊東知事君は『日本[illegible]自分では言つて居る、果して然うか何うか保證の限りではないが兎に角、令の旅行にも舞ひ[illegible]だけはチャンと用意して來た位△そこで其譴城中或人が『御揮毫を…』と云ふと先生唯々諾々、早速請合つたまではよいが幾らか練つても書き相な模樣も見えず頼んだ方ではヤキモキして居る

十日朝奉天に向つた代議士[illegible]谷座切つての能書家だと自分では言つて居る、[illegible]

▲老獪[illegible]がけぬものに候』と云ふ一書を殘して奉天へプイ…▲[illegible]前の金谷京城府尹は烏山へ[illegible]和易の官僚で『誰は準備から[illegible]を許へて府尹に轉任同時に群山への金谷府尹の方は職既に耳順に近い年齡の[illegible]事務に御本人却つて風光明媚な烏山の如き所を喜ぶだらうが[illegible]官僚新府尹のやうな若手は[illegible]治な所へ招たがよかつたには或る人の話▲ところが之れを聞いた或の者は否々さうではない群山は仲々六ケ敷ところだ今でこそ群山は問題がなく表面は一寸寧らかやうに見られるが其實何うしてそうでない天野前府尹など宮館君の群山行は甚し[illegible]個の試金石だとは之も何うやら大袈裟過ぎるやうに思はれる

晉州商友會設立

晉州商業者佐太郎氏外七名よりの出願に係る株式會社晉州商友會設立の件は九日許可の指令ありたるが同社は本店を慶南晉州郡に置き資本金十萬圓を以て商品の買賣其他の業務を經營するものなりと

火藥講習開會式

第三部及び火藥商所在地の警官に於ける銃砲火藥取扱に對する銃砲火藥に關する講習は十日午前十時より京畿道會議室に於て開會式を行ひ[illegible]研究會講師[illegible]長の訓示あり卽日[illegible]より講習に入りたるが[illegible]席の受講者は警察側二十八名火藥商側二十六名合計五十四名にして會期一週なりと

機關車竣成

京管局草梁分工場に於て組立中の新規機關車十二輛は著々竣工し既に五輛成各機關庫に配置となるが去る八日一輛竣工を了し之を以て半數卽ち六輛の竣工を見たる次第なり

經濟通信發行

京城經濟界にては今回其の筋の認可を得て近く發行しとなれる京城經濟通信は每月三回(五の一)とに十日は每月三回朝鮮を中心とし東亞財界の容は朝鮮を中心とし東亞財界の眞相を報道するにありと

入京消息

神田新任長崎縣理事官 十二日頃一旦東上再歸鮮の上赴任すべしと

年六回の收穫ある蔬菜促成栽培

▲僅二坪からでも百圓の金儲

一寸した町でも時ならぬ時に指位の胡瓜一本六錢もする殊に東京大阪等へ送ると大以上の高値に賣れる此は全の一例に過ぎないが其他の蔬菜も頗る珍重されて冬から春にかけて野菜の缺乏せる時期に其の出盛り時ならぬ時に收穫する方法は促成栽培である此方法で大金儲をした人が少くない樂み半分二坪位に栽培するには殆ど資金が入らず如何川舍でも出來て內外の收穫がある其方法は質驗行最新實驗促成栽培講義錄に精しくある種々の特點あり下準備の趣好時なれば東京小川區大塚仲町大日本園藝學會へ手急ハガキで申込ば見本進呈

巡查書成講義錄

外務省指定 海外派遣 內地兼用

今や全國各地に於て大募集中 巡查は青年官吏として昇進迅速收入多大小學卒業にて內地勤務は三ケ月講習後及第容易月收內地五十圓以上海外百圓以上

東京低崎町二丁目 日本警務學會

七十四回

▲一千圓……壹等當て十圓

▲二千圓の二倍 四千圓當て廿一圓

▲二千圓の三倍 六千圓當て卅五圓

▲二千圓の四倍 八千圓當て六拾圓

▲二千圓の五倍 壹萬圓當て壹百圓

提供特價 ●印○印◎三組同時御買入 百拾圓 ●印○印◎印四組同時買入 二百圓

●多數は特別勉强且便宜御相談可致候代金引換求ニ應ズ

神戶加納町四 鹽崎商會 振替大阪十八番

太陽 十二月號

□現政黨の分野 安達謙藏 □既成政黨の革命 植原悅二郎 □概して無影響 小川平吉 □普通選擧反對 山本悌二郎 □改造の第一階梯 鈴木梅四郎

●政府の物價調節の根本的大策 仲小路廉 ●物價調節の根本的大策 千賀博士 ●官僚か陪審か 中島博士

●貴族院と普通選擧 伊東巳代治 ●外務省の改造 源伊一郎 ●日華共存論 澤柳博士 ●勞働問題解決法としての普通選擧 麻生久 ●四十二議會豫想 無名氏 ●文壇の近狀を論ず 田中純 ●國畫創作協會展覽會評

小說 悔い 萬造寺齊

東京市本石町 博文館

値上廣告

原料騰貴に付他段左記の通り改正仕候也

水飴 上 一罐に付 十一圓卅錢 中 同 十圓七十錢 下 同 十圓卅錢

漢江製飴所 川口製飴所 遠藤製飴所 朝日工產株式會社 山田製飴所 京城製飴所 三星製飴所 奧園商店

國末式ペント金庫

國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と墜落物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす

進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる

內閣諸官省御用 金庫製作所 國末金庫店 東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五五 振替東一九九〇二

△官廳入商品目錄は御報次第進呈仕候

セメント瓦豫約

特許セメント瓦京城、釜山、元山共本年中ノ製品全部豫約濟來春ノ御需用八今ヨリ豫約願上候

京城明治町 特許セメント瓦製造株式會社 電話九三七

貝杓子卸賣

見本御入用の御方は郵券四十錢御送附相成度

福岡市博多(?)柳町 サヨタ商會

新荷着

英國製最新式二連獵銃 グリーナ及ダアロウ二連 金百二十圓以上 金五百五十圓迄 以上

十二番用エレー、E.B.ナイトロ紙ケース及雷管 英國製最新ダイヤモンド無烟裝彈及火藥 米國プローベルト社製獵用スエータア及コート 歐米最新流行獵用附屬品各種

(定價表郵呈)

橫濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 店主 西村潤藏 電話本局二五五番 振替東京四七二一番

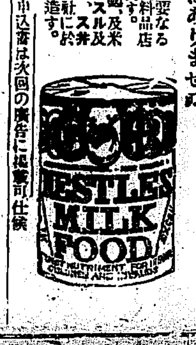
(獵犬部新設)

京城代理店

東京山本製大印インキ石版活版機械及石版 大阪海上火災保險株式會社 ちや足袋及いろは足袋 逆榮生命保險相互會社

京城本町三丁目 食料新聞 商 今藤富國太郎商店 電話三〇八・二九〇二番

ネッスルミルクフード



小兒・病者・老者用 滋養食品

世界を通じて刀圭界の御推獎を蒙れり

▲病人の食物は滋養豐富で消化が容易でなければなりませぬ。▲それには人體組織に必要な凡ての要素を含蓄し且つ消化吸收の容易なネッスルミルクフードに勝るものはありませぬ。

到る處主要なる藥店及食料品店にて販賣す。瑞西、英國、及米國のアングロ、スヰツス煉乳會社にてのみ製造す。

▲見本申込書は次回の廣告に掲載可仕候

米國海軍豫算

米國海軍豫算は五億四千萬弗を計上せり（華盛頓電報）

…の利喰ひ買にて下押し…の買進みに引返したるが結局二十ポイント乃至四十六ポイント…

京城安店に榮轉せる…四氏の送別會は十一日午後六時より仁川ホテルに…

國境横斷旅行(七)

外國に日本憲兵駐屯 旗を以て指揮する馬賊 電線架設で日支軍の衝突

馬賊が來るとスグ逃げ出す巡防隊 長白府の保安は憲兵で保たる

惠山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

惠山鎭と其の附近

市街を一巡して採木公司分局に敬意を表し門口に出ると其の眞正面に當つて

長白府憲兵所

と書いた大看板を掛けた家があつて日本の憲兵や憲兵補助員が出入して居る。長白府は支那地で一口に云へば外國だ其の外國の土地に日本の憲兵駐在所があつて憲兵が駐在する。——第一其憲兵所なる名稱が既に諒解の出來ぬ名前だ。是には何か仔細があらうと急ぎ門を潜ると玄關があつて事務室がない。聲を掛けると憲兵さんが出て來た勧めらるゝまゝに

草履を脱いで

上に上ると家は土地式と鮮式を折衷した温突で五六人の人が居る。先づ不穏な憲兵所のことを聞くと、去る大正四年九月十四日午前五時、馬賊喇叭の聲勇ましく長白府を前に擁した搭在山の後方から頭目、鐵〆雉の率ゐる一隊の馬賊百七十餘名が攻めて來て、其の頭目搭在山の中腹に在る平地に陣取つて長白府を下瞰しつゝ旗を以て

全軍を指揮し

馬賊は隊伍堂々と先づ支那巡防隊と縣知事衙門に一齊射撃を加へたので巡防隊、警察署員は早速後方に退却し終には恐く逃走して了つたので馬賊は商家を襲ひて金品を強奪し朝食を炊かし悠々たる態度を示して居つた。此の時採木公司分局長猿川直治氏夫妻は共に病臥中であつたが

馬賊の一隊は

此處をも襲ひ分局の在庫金全部を奪ひ猿川氏夫妻を捕縛して了つた。然るに六丁しか離れて居ない惠山鎭で銃聲を聞きスワ馬賊來襲だと腹がへらぬ許りに動搖し殊に鮮人市街では逃出し掛けたので守備隊と現分隊長大野大尉の率ゐる憲兵隊は遂に長白府に向けて出動したので馬賊は慈き慌て後方に逃亡した。猿川夫妻は共に引つ立てられたが馬賊は何と思つたか二里許り來ると同氏等の縛を解き六七里連行したまゝ危害を加へずに之を放還したので危い命を助かつた

我が守備隊は

一時長白府を占領して居つたが馬賊が退却したので直ちに引揚げた然し何時馬賊が引返して來るやら又更に新な馬賊が來襲するやら解らないので憲兵隊は其まゝ駐屯員を臨時的に置いて居るのであるさうな。機關を設置して置く以上電話の必要があるので電話線を架設し掛けると支那の官憲は大いに驚き何等の交渉なしに電話の架設は亂暴だと

巡防や巡警は

銃劍を以て電信夫を威嚇するので此方でも必要あつて架設する以上は何處迄も目的を貫かねばならぬと工夫の護衛の憲兵を附し互に相譲らなかつたが、十月十五日に至つて遂に支那巡警が發砲して戰ひを挑んだので大野大尉指揮の下に應戰し劈頭第一發に支那警察署長が仆れバタ／＼と四五名の亡者や重傷者が出ると支那軍は例によつて退却したので其の間に架設を了つたさうである。

憲兵の撤退方

を申し込んで來るが大野大尉は何時も白縣知事に白府の狀態は未だ憲兵を撤退するに至らざる旨を答へ一々警備を擧げて拒絶するので未だに憲兵が居るのである隨つて長白府の保安は日本憲兵に依つて保たれ支那人も安心して居住が出來ると感謝して居るさうである

物々しい長白府の警戒（十月八日特派員撮影）

在米鮮人が却て内地人と融和

英京に入込む亡命客 貸家捜しの廣告が目に付く

歐洲より最近歸朝者の談に曰く『歐米各國では日本人も支那人も外觀上からは同一視され殊に朝鮮人は何等日本人と異なる處なしと認められ中には無論

日本の旅券

で渡航したものも多く在留先の各國では固より日本人としての待遇を與へられて居たのが最近朝鮮問題沸騰と同時に歐米各國人間でも強て内鮮人を區別する樣になつて最近の倫敦新聞で『近頃目に著くは朝鮮紳士の貸間捜の廣告だがウエストエンド近邊で

寢間と浴場

と電話の設備ある室を求むと云ふ樣なの…

二三千人の朝鮮人が

…特々見ゆる』と觀測してあるが北露方面から避難した鮮人等は出稼の勞働口を求め沿岸や布哇になどもあるらしく米國太平洋岸の中には排日運動に努めてるものもあるが多數は内地人と和々親善の傾向を示して居ると

博義王の御婚儀

十五日に御内定

去る一日御擧行の筈なりし伏見宮博義王殿下と一條朝子姫との御婚儀は既報の如く殿下御風邪の爲一時御延期の所殿下にはいよ／＼御全快遊ばされ東京病院を四日御退院直ちに高輪の御本邸に入らせられたるを以て一條家と宮家に於ては御婚儀期日に付目下御協議中の由なるが、洩れ承はる所に依れば來る十五日午前十時宮中賢所大前に於て行はせられ翌十六日朝見式の御儀に略御内定せるやに拜聞す尚朝子姫には一兩日中に敍勳の御沙汰あるやに承はる

大改造

外國皇族方の旅館にする 霞ヶ關離宮

講和批准の公表も愈々間近となり帝國と諸外國との交りも愈々親しさを加へ何れも正式批准の一表と前後しては歐洲各國皇室より交歡使節の御來邦をも見ようと云ふ場合なので此際宮内省

多年の懸案

たる外國皇族御旅館の十全なるものを設けたいと目下石原次官、内匠寮各高官、杉調査課長等は鋭意研究中である然し同時かも記した如く本年度宮内省豫算は空前の緊縮方針を採つて居る爲め結局霞ヶ關離宮に改造を加へ御旅館に宛る事になり

現に歐米の

建築法、皇室の有樣など研究視察中の木子技師、中御門式部官等の研究をも參酌して同離宮に大改造を施し各國のそれにも劣らぬ模範的建物たらしめる計畫で右は大正九年度の追加豫算に依つて施行される筈である

敵人財産

東京府丈でも六百萬圓 近く處分される

帝國と獨墺兩國との國交斷絶に依り我國に殘された兩敵國人の財産は全國を通じて神奈川縣が最も多く次いで兵庫縣東京府の順となるが東京府には全部で約一件六百萬圓あり此内府の管理に屬するもの不動産九十五萬圓…計二百三十一萬圓に達し金額の

最も多い

のは例のシーメンスシッケルト會社、イリス商會等である尚ほ此の外府の管理外に屬するものに獨逸大使館の土地建物百五十四萬圓墺國大使館の土地建物五十九萬圓程あるが之は近く外務省の指令あり次第其管理下に在るもの處分される筈であるが價格の大なるものは

公入札に

附し小額なるものは日本政府の恩典を感じさせる意味で持主に返還し或は擔保にして獨逸在留中受けた個人の損害の補償に當てることであるが株券は全國一齊に同一律に其日の價格を以て賣出し小口のものは現物として本人に渡すと云ふ事である（東京）

魔の手

全市を包む 悪性感冒の 當局防疫に着手

市内の流行性感冒は其の後益猖獗を極め銀行會社は缺勤者續出と云ふ有樣、郵便局の如きは事務上にも差支ると云ふ程である、然も魔の手は小學校をも襲ひ現に感冒の爲め缺席して居る兒童は各校を通じて三十名以上に及び尚感冒邪氣味で通學しつゝある者は全數の三分の一にも達して居る、殊に櫻井小學校では感冒患者の多い學級の臨時休業をすることである京畿道廳では管内一般の狀況に鑑み近く適當の防疫方法を講ずる筈

理髪賃値上

目下申請中

京城内地人理髪業組合にては職人拂底及び諸物價騰貴を名とし…

悪性感冒の研究

西班牙から強硬な抗議 病原体はまだ判明せぬ

總督府醫院長 傳染病研究科長　高木逸磨氏談

流行性感冒は全く特異な大流行性を有つてゐるもので昨年は朝鮮だけでも約三十萬の死者を出した、虎疫が猖獗を極めた年でも本年は二萬餘の死亡者があつたのであるが、昨年五月スペインに流行した時には

皇帝以下

關係官吏の全部が罹病し國の事務が全く麻痺された程で其國民全數の三十パーセントが罹病した相である。スペインで猛威を揮つた感冒はフランスに入り西部戰線を襲ひ更に獨墺側にも非常な惨害を與へた、之が漸次に傳播して米國を襲ひ更に本邦に渡つて來たが夫には米國を經由したもの、外に

南阿南洋

を廻つて來たものと兩方の系統があつた。滑稽なのはスペイン風と云ふ名稱が出るとスペイン側から抗議が出て此流行性感冒は獨逸の潛水艇がスペインに入港して菌を撒いて行つた者であるから名稱は獨逸風とすべきだと云つたので

世界風邪

と云ふ名稱も出た譯である。此種の感冒は昔から有つたもので西暦一七四三年に『インフルエンザ』と云ふ語が出來てるから随分古いものである、昨年流行する以前には一八八八——一八八九年（明治二十一二年）の大流行があつた、此時には日本でも三條公其他の諸名士が澤山逝かれた、一八九二年獨逸のパーフェル氏が

病原菌を

發見して學界に發表したが其後の小流行に於て全然パーフェル氏菌を發見せぬ流行性感冒の患者が屢々有つた、昨年の流行に際しても歐米でも日本でもパ菌を發見せぬものが有つたので病原體は再び混沌たる状態に戻つた、獨逸の醫學週報で此の感冒の病原體に就いて

廣く意見

を求めた所がパーフェル氏自身が此問に答へて曰く『自分の發見した所謂病原菌を疑はずに居られなくなつた』と云ふ事であつた、醫學界では今尚ほ此病原體の研究を續けてゐるが未だ海とも山とも確定して居ないのである。

結納を取急ぐ

緣起を擔いで年内に 來年は申歳だからとて 近來は東京風が大流行

婚禮

の季節も師走の風と共に稍終りに近づかうとしてゐる此頃も本年はまだ結納の取りやりが頻りとあるこれには

仔細

があつて來年は申の歳、申は去るに通じ、此年縁を結ぶは不吉と擔ぐ人が多いその爲、年内に結納を取りかはせて置けばつまり縁は本年に結んだのだからよしや立春すぎて

申歳

に入り、盃をしても差し支がなく又急いで立春までに式を擧ぐるにも便よしといふので無暗と此頃結納沙汰が多いのだとのこと、その

結納

の品々も當世向きは袴裕又は三枚衣裳などにお定まりの鰹斗昆布、美々しき揃へにするも千圓乃至二千圓ほか、るもこれは七荷以上の嫁入に對する結納、又

近頃

は東京風に四五百の帶地と金一封を添て贈るやり方も流行してゐるさうだ、いづれにしても上ると一方の流行界結納一つでもかくの通りに品むいくら品んでも早くせぬと申歳になつては親々は必死でその品擇みにいら立つてゐる樣子。

酒の値段

暴利に近い 既に昨年の倍

…て又復理髮賃金値上げを其筋に申請せるが當局にて許可するや否や今の處未定なりと因に現行料金左の如し

一等調髮七十錢▲同一分丸刈六十五錢▲同小供丸刈三十錢▲二等調髮六十錢▲同一分丸刈五十錢▲同小供丸刈二十五錢▲三等調髮五十錢▲同一分丸刈四十錢▲同小供丸刈二十錢▲用仕事は各等料金の倍額

此れに依れば一等調髮一分丸刈に廿錢の値上二等調髮一分丸刈は十五錢の値上二三等小供丸刈及三等は各十錢の値上なり

十日から又復酒が騰り京城の小賣は等一升二圓六十錢となつたが灘諸酒昨今の取引相場は地元渡し十駄（七石三斗）が千六百圓（石當り二百二十圓）で昨年四月一日の取引相場六百二十圓に比較せば千駄に付約千圓の暴騰であるに之を月々離上げると云ふべきである…であるから灘昨年の酒造米仕入れ資格平均石四十四圓五十錢に清酒一石を醸造した酒であるが…

大日本肥料 會社火災

九日午後十時半下關の外彦島大日本肥料會社より出火し同工場三棟及び山林二町を燒き十日午前四時鎭火せり原因は漏電にて損害二千餘萬圓なり（下關特電）

掏兒の親分入込む？

御用心／＼

年末で電車、汽車、活動寫眞館、人混みの場所にて掏摸に遭ふものが殖えるが昨今に至りて被害額も益々激増し然も其の手段頗る巧妙になつて來た…一の誤にあらざるより市井の一部には或は内地より掏兒の親分が多數の手下を連れて入込み居れるにあらずやとの噂さへあり…

贈答品輸入案内

米國カリホルニヤ産果物蜜汁罐詰各種

京城南大門通　青木堂

電車立往生

十日午後七時五分全線に亘る停電あり是が爲電車は何れも立往生をなしたるが十分間許りにて復舊せり原因は變電所の故障なるべしと

飲料品値上

朝鮮ホテル及び釜山新義州停車場旅館に於いて販賣する飲料品の價格を來る十五日より改定實施する筈なるが大體に於て二割見當の値上げなりと云へり

結婚式服の新考案

入澤博士夫人の發表案

其模様も

…年々位置高く大胆に模樣を置いたのが通例となり…

虛禮虛飾

は一日も早く改廢するが生活の改善の一端であると…

一枚襲ね

九十八圓五十錢…

不埒な醫者

江華郡府内面官廳里六二三醫師…は故なく患家の求診に應ぜざる爲め告訴され江華署に於て即決となり明治四十五年朝鮮總督府令四十一號違反として罰金卅圓に處せられたるに不服を申立て正式裁判を請求したるより十一月廿九日京城地方法院仁川支廳に於て公判開廷、罰金十圓に處せられたるが猶不服にて控訴を申立てたれば近く京城覆審法院の公判に附せらるゝ筈

行倒れ

九日午前四時頃南大門通三番地先路上に年齡五十位の鮮人男が死亡し居たるを通行人發見本町署に屆出でたれば同署より醫師を同伴檢視の結果凍死なりと

掏兒

住所不定金大鎭（二）は五日午後六時五十分頃南大門行電車に乘込み居たるが朝鮮銀行前停留所に於て漢江通り十三番地金子數一が下車せんとする際同人より三百八十八圓入の財布を掏り取り驛下に隱れしを見て其場に取り押へ本町署に引渡したれば同署にて取調べの上檢事局に送らる

詐稱盛清

市内明治町二丁目松葉方吉田松太（三）は十月二十五日より十一月廿四日迄の間に旭町一丁目繁京旅館へ宿泊し會社員吉田盛清と詐稱投宿し同家より宿料金…圓を借受け入質したる事發覺して本町署に檢擧され取調べの上身柄は檢事局に送らる

小火

九日午後八時十分頃龍山漢江通三百三十二番地李健翔方温突焚口より發火したれば消防隊馳け付け消し止めたり原因は温突焚火の不始末の結果にして損害四十圓の見込みなりと

山崎武逝去

本社前經理部長山崎武氏は去る二日より流行性感冒に罹り九日附屬醫院に入院加療中の處廿五日午後七時四十五分逝去せり葬儀は郷里茨城縣より親戚の來着を待ちて執行す

運動界

スケート場新設 東拓前廣場に

體育協會にては此程京城ホテルに於て理事會を開き明年度豫算編成方針打合をなしたる後協會の會計整理の件及スケート部新設の件等を附議…東拓前廣場を會員の便宜を圖り東拓前廣場に新設の筈にて一兩日中起工中旬に各設備を了すべく完成の上は本年に限り會員より月額二圓宛を徴收し諸經費に充つる豫定なり

● 電力モートル變壓器起動抵抗器 ●

十二月一日より販賣價額改正す

當社製品は京城南大門外中根商會に販賣方委託仕候間同商會に百馬力以下各馬力共在庫致させ居候故當社同樣中根商會に御注文願上候

大阪電燈株式會社製作所

猿馬印

手足耳のかゆみいたみたゞれくずれによくきく

まもやけ根切薬

全國藥店に有 價卅錢廿錢十錢 本舗 東京日本橋區上槇町三 安川晃榮堂

◀辻本商店特報▶

▲米國産レイドレージン（無種乾葡萄）今朝漸ク少數到着仕リ候間御注文願上候

▲贈答品ニ好適品ナル、ウヰスキー、ブランデー各種、葡萄酒相當取揃居候品切ニナラザル內ニ御用命願上候

▲例年通リ味ノ素、洋酒類、化粧箱準備致居候

▲季節物、罐詰類、海産物類、各種乾物等取揃居候

▲殊ニ本年ハ大好景氣ニ付品切ニナラザル內御用命被下度奉願上候

整腸消化劑

糖化菌含有乳酸菌製劑

ビオフェルミン

本劑はメチニコフ博士の提唱したる乳酸菌療法に最も適したる完全乳酸菌製劑にしてブルガリアン乳酸菌の外腸内に於て澱粉質の消化を行ひ併せて乳酸菌の作用を強烈ならしむる糖化菌を含有す。即ち本劑は腸内殺菌、防腐、消化、整腸の三作用を有するを以て腸諸疾患、腸消化不良等に對して現今唯一の良劑として賞用せらる。三十瓦入（金九拾錢）百五十瓦入（金壹圓九十錢）五十錢入（金七拾五錢）百五拾錠入（金貳圓）送料十二錢、外ニ散末三百瓦入、四百五拾瓦入あり

本劑に關する學家二百有餘名の臨床報告集あり。無代郵呈す。

全國知名藥店に販賣す。

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店

萬年ペン修理と販賣

京城本町堺杵二丁目　電話二五二七番　ウツボヤ世帯店

尚美堂の寳飾品

最高の品位　標準的價格

ダイアモンド入御細工品

價格　白金台 金三百五十圓

送呈　御希望者に月報尚美堂時報無料

尚美堂寳飾店

大阪淀屋橋

冬!! 旅行ニハ是非

□東京特製トランク

□弊店特製トランク

□柳織専賣トランク

□二枚續毛布及ヒザ掛

□其他旅行用具各種

京城本町一丁目

高木鞄店

電話二五四番

鶉卵配達開始

京城本町一丁目　守山鶉飼育所

電話五〇番

故祖母イキ葬送ノ際ハ遠路態々御會葬被下御芳志難有奉謹謝候略儀以紙上御禮申上候

十二月十一日

男 城臺一六

親戚代表 崎原善六

山口喜二郎

城臺神量

友人代表 橋口卯作

佐藤牧太郎

佐野彦藏

夜の蜘蛛　江見水蔭

「四十七」　挿畫　近藤紫雲

羽田の人造富士の上で、つく／＼小糸が考へてる處へ、後の方から何時しか登つて來た一人の婦人が行つた。小さな束髪を結んで、眼鏡を掛けて、被布に袴といふ拵裝。年齢は相當に闌けてゐる。

『おや、淀子さんでは有りませんか』と婦人は小糸の後から聲を掛けた。

『あッ』と小糸は驚いた。『師匠』と呼ばれたからである。

『まア北條淀子さんでしたね。久振でしたね』と婦人は親しく側に寄つた。

小糸は逃けるにも逃け出し様が無かつた。

『まア、先生……』

斯う云つて流石に顏を赤らめた。今の姿を多少恥ぢたからである。

此婦人は女學校を自分で持つてゐる鯛津幸子女史で、小糸の本身の淀子としては、其處に入學してゐた關係が有るのだ。

『まア、這んな姿で先生にお目に掛かつて、お耻かしう御在ます』と小糸は多少狂言味を加へて頭垂れた。

『淀子さん、まア何うして此處に……羽田の何處かに奉公でもしてゐるのですか』と鯛津女史はヂロ／＼と小糸の姿を見ながら云つた。

『お耻かしう御在ますが……旅館の帳場の手傳ひに參つて居ります』

『いゝえ、職業となれば、何でも神聖ですから、旅館に傭はれてゐても、それは差支有りませんが……併し教育ある貴女として、モツト何處か行く處が有りはしませんか』

『それが先生……欺かれましたので御在ます』

『わッ、欺かれたですか』

『實は最少し神聖な家かと思ひまして、事務員として使用して呉れるのかと思ひまして、來て見ましても、案外なのに驚いて居りますのです……いゝえ、それも親が長らく入院致して居りますので、その費用を……お耻かしいお話ですが、それを稼ぎたいと思ひまして、收入の少しでも宜しい處へと勞へましたのが、……』

『まア、親御さんが入院？』

『はい、父が中氣で御在ますので……』

父の北條綱輔は、疾くに自車に轢かれた爲死んでゐるのだが、それを知らない淀子の小糸は、女史に向つてそんな出鱈目を云つて、一時胡麻化さうとした。

正直な女流教育家は、少しもそれを疑は無い。酷く同情して、

『それは嘸お困りでせう……少しでも早く這んな處を引上げて、好い處へ勤務し替へたら好いですよ。なんですなら妾がお世話して上げますわ』と直ぐ乘つて來た。

門下に對する同情の厚いのは實に敬服すべきである。

『ごうぞ、何分宜しくお願ひ致します』

渡りに船とは實に此事である。小糸も此時は眞劍で以て依賴する氣に成つた。

身の變換を考へてる時に、女史から斯う云はれたのだから、

『幸ひ、或る華族さんの御邸で家庭教師を探してゐられる處ですから、其處へ貴女、家庭教師に入つたら好いでせう。妾から事情を話したら、阿父さんの入院料なんか、如何にでも成るのですから……』

『ごうか先生、然うした處へ妾をお世話下さいまし。此上のお救ひは御在ませんのですから……』

華族の家庭教師に成れば、位置も安全な事は無い。然うして當分辛抱して、氣の持方から心の入方、すべて徳操の準備が充分に出來ると考へた。

鯛津女史は北條淀子として知つてゐるので、カルメン小糸の半面を知つたら、決して推薦には乘らぬのであらうが。快くその紹介を諾し、後日を約して共に人造富士を降つた。

近頃よく賣れますキヤラメルは最近發賣當地製造のライオンキヤラメルで有ます　試に召上て御賞翫遊ばせ　京城若草町　新工場　ライオン商會

米價低落確實

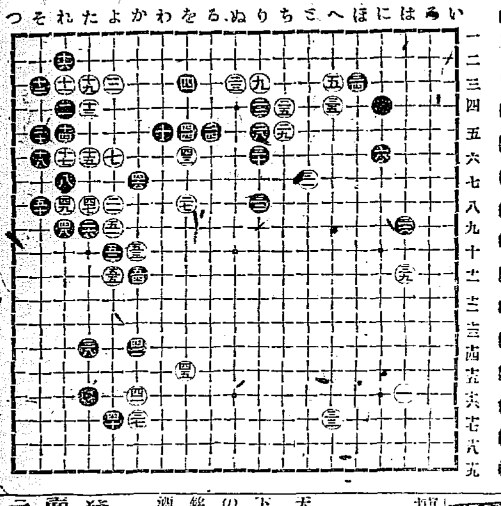
出後と雖も市場に於ける米價如何に依ては其後彼我兩國間で數々今後西貢米が續々輸出されるか [illegible] 因探究の爲め專門家を網羅せる [illegible] 々の改善を加へ、藥品製造及 [illegible] 經過せる火藥は與火藥試驗所に [illegible] にする爲め最に平均なる日本爆 [illegible] を要ぐる計畫なりと（東京）

圍碁新局（三）

（十一月中旬於本社主催圍碁大會）

五段　瀬越憲作氏
二子　紀本龍太郎氏

○	四一	か十六
●	四二	か十四
○	四三	な六
●	四四	な五
○	四五	な十五
●	四六	か七
○	四七	た八
●	四八	れ九
○	四九	れ八
●	五〇	そ八
○	五一	よ九
●	五二	よ十
○	五三	か十
●	五四	か十一
○	五五	よ十一



日曜歌壇

冬ごもり　―京の兄へ―

草野　蔵彦（京城）

白菊の霜に傷みて朝早み庭掃くと出でたり心ともしく
おしなべて物皆冬を迎へつゝ衰れと見たり庭の白菊
傷みては見るすべもなみ白菊の朝を冷たく月見たりけり
何と云ふ靜けさならむ霜白き朝をこゝだの落葉掃きつゝ
ひそ／＼と落葉樹に來て啼く鳥に掃く手止めにつゝ見たりけるかも

折にふれたる　小西　北月

雪もよ空は低しもおほどかに午砲鳴る間を籠りゐにけれ
日だまりに日向ほこする初冬の鐙を何處にか風の聞こゆる
折からの朝日に啼かぬ落葉樹に寒げに見ゆるこゝだの雀
夜のほごろ啼きつゝ屋根上を渡り行く鳥の聲に眼覺めけるかも
屋根上をあかときかけてまが／＼ひ啼き渡る鳥の聲のさぶしも
しぐれ降る小竹敷かげに夕祈みこもしらに啼く鳥淋しむか
落葉かぜ眞夜に聞きつゝさみしらの心抱きつ寢ねにけむかも
夜具の襟冷からましをつばらかに落葉風聞き床にこもるか
たかむらに程近き覓の水瓶みつロす、けりとたより見しはや
汝が深夜渡る鴨川の橋にして千鳥しば啼く聞きにけむかも
相知ざる人なりながら北月頭忘られぬ名となりし君哉
新聞の欄外白き淋しさこわが思ふ人無しと知れぞ
君が住む里やいづこと地圖開き青き點打つ紅き線引く
危くも猫の死骸を避きむとし小暗き街の冬の宵月
灰色の空を支へて松一本登ならむとする秃山に立つ

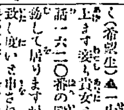
人の子の死せるに
クリスマスの玩具も今は要はなしサンタクロスの爺よ來で泣け

京城明治町　電話三四〇
産科婦人科　中央婦人病院
院長　衣笠舜山

新刊紹介

▼文藝俱樂部（四の十二）最も多方面に歡迎さるゝ文學雜誌にして取材何れも例によりて奇特斬新也（東京牛込矢來町中の丸　博文館）
▼料理講義錄（新年號）料理講習は我國最古の歴史を有する板垣精子氏主宰東京割烹講習會發行の家庭料理講義錄なり動題御料理初め新式正月の組重正月三ヶ日の祝膳 [illegible]

夜番の相談



▼朝鮮及滿洲（一五〇）百五十號記念號にして維新十二年史（釋尾東邦）十餘年間の朝鮮と滿洲、同じ百十號に題す（同）を初め浮田博士、阪谷男、酒井博士其他の「如何に朝鮮を統治すべきか」其他朝鮮及び滿洲に關する名家の時事評論及び産業歴史土地事情讀人物評社會的記事等有益多趣味の記事極めて豐富にして小說「松炎佐雄」附錄として『併合後の朝鮮の發達』あり（八十錢、京城南山町一の十四其社）

其他和洋食支那料理其他數十項（金五十錢、東京本郷元町東京割烹講習會）

小生は本年貳拾才 [illegible] の靑年目的は將來の爲に [illegible] 月下勉學中なれど [illegible] 暇無きを悲しむ仍而何人か間はず篤志の方へ書子を望む但し條件付にても可又書生として御採用の上多少の余暇を與へらる、方にて［宜し］く（希望生）▲一少女よりの御方へ申上ます妾も貴女と同志の者で目下話一六二〇番の醫院に見習として勤務して居りますが當院に今一人採用致し度いと申されて居られます故お差支無くば御住所御知らせ下さいませんか月給も相當に差上るさうです電話口には何時も私が居りますから [illegible]

何卒御講話で御願ひ申上ます私も一人で淋しいのですから、 [illegible] 安なる投書を [illegible] 生）▲京城 [illegible] が私事も目下 [illegible] 株式會社の用務職人に加入致 [illegible] 八回まで拂入れて居ります [illegible] に依りますと市內有志の方から [illegible] 御加入の樣ですが未だ [illegible] しようかもし今迄に御 [illegible] が有りましたら不 [illegible] 知らせく [illegible] ださいませ（不安生）▲小生四十才 [illegible] 子有るも一定の職業なし [illegible] 打臥居し金 [illegible] 居 [illegible] 高く獨立家事を [illegible] 何卒手伴事に有 [illegible] 新 [illegible] は何處か [illegible] 帳場に御使用 [illegible] 十歳拜 [illegible] 高等小學卒業 [illegible] は紹 [illegible] かれて宜しく [illegible] ても宜敷候（求職生）

皮膚科徽毒科（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　痳病
（入院隨意）
京城明治町二丁目　電話一一七參
佐藤醫院

織元の廉賣
桐生、足利は日本唯一織物の産地として殊に桐生は大産地にして目下諸物價騰貴の折柄多數の人の手を省いて直接に買へば然も最新流行品が各地の市價に比して何割と云ふ安價に買へる
第二回提供一萬反
工場特製の品を合計二萬點　左記の販價にて提供す
文品は御申込順に御送付
●御召、銘仙登代　●羽二重、羽織裏　●山水花鳥、人物模樣　●縮緬、無地紋、紋付　●大巾絹、紬地　●紺地、茶地
吉野御召
別製コート羽織
御紳士淑女用
御注文は男女別年齢を記入
越次第引換にて送る
上州桐生町
丸とく織物會桐生販賣部

月やく
まり又は不順にして悩む [illegible]
工合悪くして人知れず心配 [illegible]
ずに私共の [illegible]
藥 [illegible]

帝國カスミ網
特製保護 [illegible]
特例 [illegible] 七圓五十錢
東京日本橋 [illegible] 販賣
[illegible] 補

ゐれき
[illegible] 助けの爲の一切 [illegible] 方にスグ [illegible] 播州明石市 [illegible] 所

結核專門
古賀病院
[illegible]

天下の銘酒
菊正宗
博多取引所仲買人
首藤定商店
電話長二二三五番　二三六番　一四二八番
發賣元
首藤京城支店　電話一一七二番
首藤釜山支店　電話三四三番
首藤博多支店　電話二八八番

京日案內
▲本大島紬着荷
[illegible] 大島織元自宅紬工場製品 [illegible]
電話二四九三番　大和町 [illegible]
▲外交集金人採用
內地人ニテ外交ニ巧ナル者 [illegible] 南山町三ノ一九 [illegible]
▲店員入用
希望者は自筆の履歴書相添 [illegible] 龍山漢江通 [illegible]
▲電話買入たし
電話 [illegible] 小出
▲店員入用
[illegible]
毛皮なめし
[illegible]
年金恩給
[illegible] 西本願寺 [illegible] 江州屋本店
事務員入用
[illegible] 京城黄金町三丁目 [illegible]

最新刊
[illegible]
大阪屋號

▼何故によく賣れるか？
キツコウ
醬油は
▼値段が安くて品がよい！

りん病
急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治疑ひなし
一圓四十錢
ルーデサック特製品
[illegible]
京城黄金町 [illegible] 山田文殊堂藥房

歲末年始の御贈答には
○ミツワ石鹸
本邦人の皮膚毛髪の洗滌に適する理想的石鹸
如何なる家庭に於ても賞美滿足さるゝ必需品

近年の歲末年始御贈答の傾向は、實用品を選擇して、贈答用に供すると云ふことになつたが、これは誠に喜ばしいことです。虛禮に流れたものや、必要でもない品物を、舊來の慣習であると云ふ事柄から贈答するのは、生活の樣式が複雜になつた今日では、全く無意味なことであると考へられます。

一、如何なる家庭に於ても重寶
一、永く貯藏して品質は變らず
一、永く置けば置く程良くなる

と云ふ特徵を具備してゐるものでなくては、實用的の御贈答用品とはなりません、贈つても貰つても苦にならぬものが、現今の歲末年始の御贈答用に全く適するのであります。それには、品質純良で、如何なる家庭にも賞はれ、前述の條件を具へた、代表的國產石鹸たる

○ミツワ石鹸
定價　三個入　金九拾錢
半打包　一金壹圓八拾錢
一打入　金參圓六拾錢

が、極めて實用向の贈答用品として、價格も格好で、且つ萬人向のするものですから、歲末年始の御贈答品として、最好適のものであります。

大形　金參拾錢
中形　金貳拾參錢
小形　金拾五錢
極小形　金七錢
水石鹸　金參拾五錢
內地以外は關稅運賃を加ふ

◎赤函ミツワ石鹸　定價　一個　金四拾錢
◎香函ミツワ芳香石鹸　三十番　金四拾五錢　五十番　金七拾錢

ミツワ石鹸
ミツワ歯磨
ミツワ家庭藥
ミツワ人參葡萄酒
ミツワ規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元
東京市日本橋區橋町四丁目
藥種、洗粉品、石鹸、香粧品、小間物問屋
登錄商號〇ミヤ
丸見屋商店
電信略號（マルミヤ）　振替口座東京七一〇番　營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇

日本郵船出帆
大連行（仁川）
神州丸　十二月廿六日正午
高砂丸　十一月　日正午
營口丸　十一月　日正午
△本船出帆時刻ハ都合ニ依リ變更スルコトアルベシ
△客船ノ乘船ハ出帆前二時間迄ニ旅客ハ仁川港船客待合所ヘ御越シ下サレタシ
仁川海岸町二丁目　電話十番　郵船會社出張所

尼崎汽船出帆（仁川）
群山木浦行
赤城丸　十一日　午後四時
一心丸　十一日　午後四時
神代丸　十一日　午後四時
秀吉丸　十一日　午後四時
君が代丸　十二月　日
大和丸　十二月　日
印船客海運行
仁川海岸町二丁目　電話二一二番　尼崎汽船出張所

氣になる時にはにせが出來るヨ

龍山納呉場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤道廳正門斜向
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場前
鎭南浦警察署前
開城南本町二八九
晉州大安洞榮町
大連岩代町
全國の都市に支店あり
有田ドラッグ商會
京城本町三丁目電車通
有田ドラッグ京城支店（光化門大通り）
有田ドラッグ鮮京部
有田ドラッグ（長谷川町　電話二九三番）
かならず百圓
にせ物あり　有田を御取あれ
◎あらゆる治療をすむ効きゝ薬局は兇に角一度來談あれ
りん病
ばい毒
大學醫科帝國大學院米國醫學上最有効と確定し薬劑とし梅毒驅主薬は淋病屬は米國醫學上最有効と確定し [illegible] 等にて實偏配劑せる高貴藥なるを保證する前述の證書に違へる事を發見せる時は
請合藥
有田ドラッグ商會
にせ物多し
[illegible]